

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第36週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-10

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第36週に診断された158例についてみると、0～9歳が最も多く、46%を占めた
< A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 > 通常小児の間で発生する疾患であり、今後、冬季のピークに向かって発生が増加するものと思われる



病原体情報
P.11-14

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2006年 / エコーウイルス 18型 2006年



速報
P.15-16

小学校におけるエコーウイルス18型の集団感染事例 - 大分県 / 無菌性髄膜炎患者からのB群コクサッキーウイルス5型の分離状況 - 福井県



海外感染症情報
P.17-18

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / 米国における大腸菌O157:H7の流行



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(36週)
P.20-26



36週のデータ
P.27-38



発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

< 第36週コメント > 9月14日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

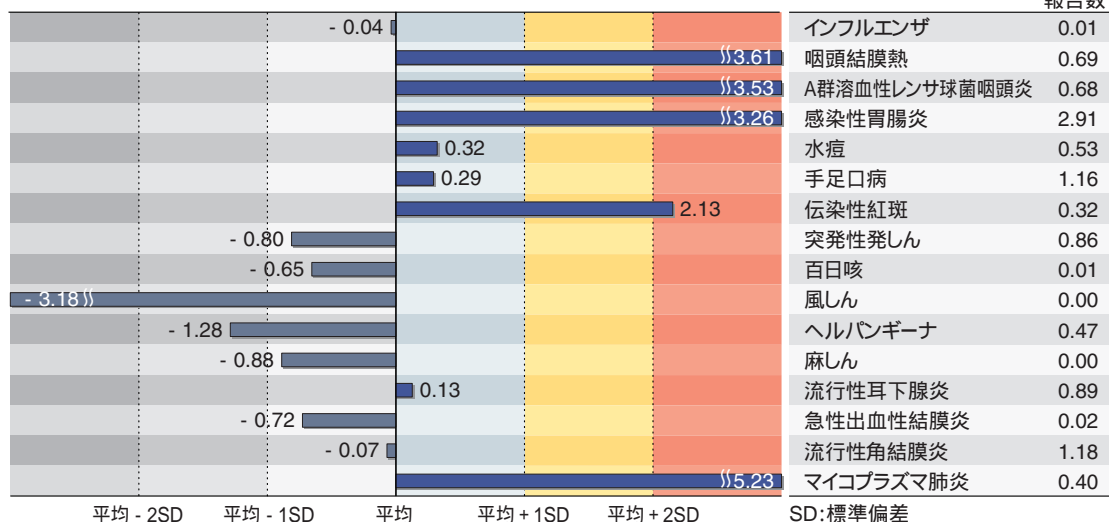
感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 1例(感染地域: 千葉県)
細菌性赤痢 11例
(感染地域: 青森県2例、東京都1例、愛知県1例、中国2例、タイ1例、ネパール1例、マレーシア1例、ベトナム1例、疑似症1例)
腸チフス 1例(感染地域: 福岡県)
パラチフス 1例(感染地域: インド)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 158例(うち有症者98例、HUS 3例)
感染地域: すべて国内
国内の多い感染地: 京都府(16例)、静岡県(16例)、徳島県(12例)、新潟県(10例)、大阪府(10例)
年齢群: 10歳未満(73例)、10代(24例)、20代(17例)、30代(12例)、40代(12例)、50代(10例)、60代(6例)、70歳以上(4例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(75例)、O26 VT1(35例)、O157 VT2(23例)、O157 VT1(9例)、O111 VT1(5例)、O26 VT2(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、O103 VT1(1例)、O103 VT2(1例)、O145 VT2(1例)、O165 VT2(1例)、その他/不明(4例)
 - 4類感染症: A型肝炎 13例(感染地域: 滋賀県10例*、静岡県1例、奈良県1例、大分県1例。*同一飲食店に関連)
オウム病 1例(感染源: インコ)
デング熱 2例(感染地域: ともにフィリピン)
日本紅斑熱 1例(感染地域: 和歌山県)
マラリア 1例(原虫種不明、感染地域: トーゴ)
レジオネラ症 12例(全て肺炎型)
年齢群: 30代2例、50代4例、60代3例、70代3例
感染地域: 東京都2例、熊本県2例(うち1例温泉)、北海道1例、岩手県1例(温泉)、宮城県1例、茨城県1例、岡山県1例、山口県1例(温泉)、福岡県1例(温泉)、国内(都道府県不明)1例
レプトスピラ症 4例(感染地域: 東京都1例、宮崎県1例、沖縄県1例、国内(都道府県不明)1例、うち1例死亡)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 5例(すべて腸管アメーバ症)
感染地域: 国内4例、国内・国外不明1例
感染経路: 性的接触3例(異性間1例、同性間1例、異性間・同性間不明1例)、不明2例
ウイルス性肝炎 1例(B型、感染経路: 不明)
急性脳炎 1例(病原体不明(50代))
クリプトスポリジウム症 1例(感染地域: 国内)
クロイツフェルト・ヤコブ病 4例(すべて孤発性プリオン病古典型)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(血清群: B群、40代)
後天性免疫不全症候群 13例(無症候9例、AIDS 3例、その他1例)
感染地域: 国内10例、米国1例、国外(国不明)2例
感染経路: 性的接触9例(異性間2例、同性間7例)、不明4例
髄膜炎菌性髄膜炎 1例(感染地域: 国内)
梅毒 3例(早期顕症II期2例、無症候1例)
破傷風 2例(60代1例、80代1例)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
(遺伝子型: VanC、菌検出検体: 血液)
- (補)他に梅毒1例の報告があったが、削除予定。また報告遅れとして、細菌性赤痢5例(感染地域: 中国2例、インド2例、エジプト1例)、急性脳炎6例(すべて病原体不明(0歳1例、4歳1例、10代1例、40代1例、50代1例、60代1例))などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第36週)



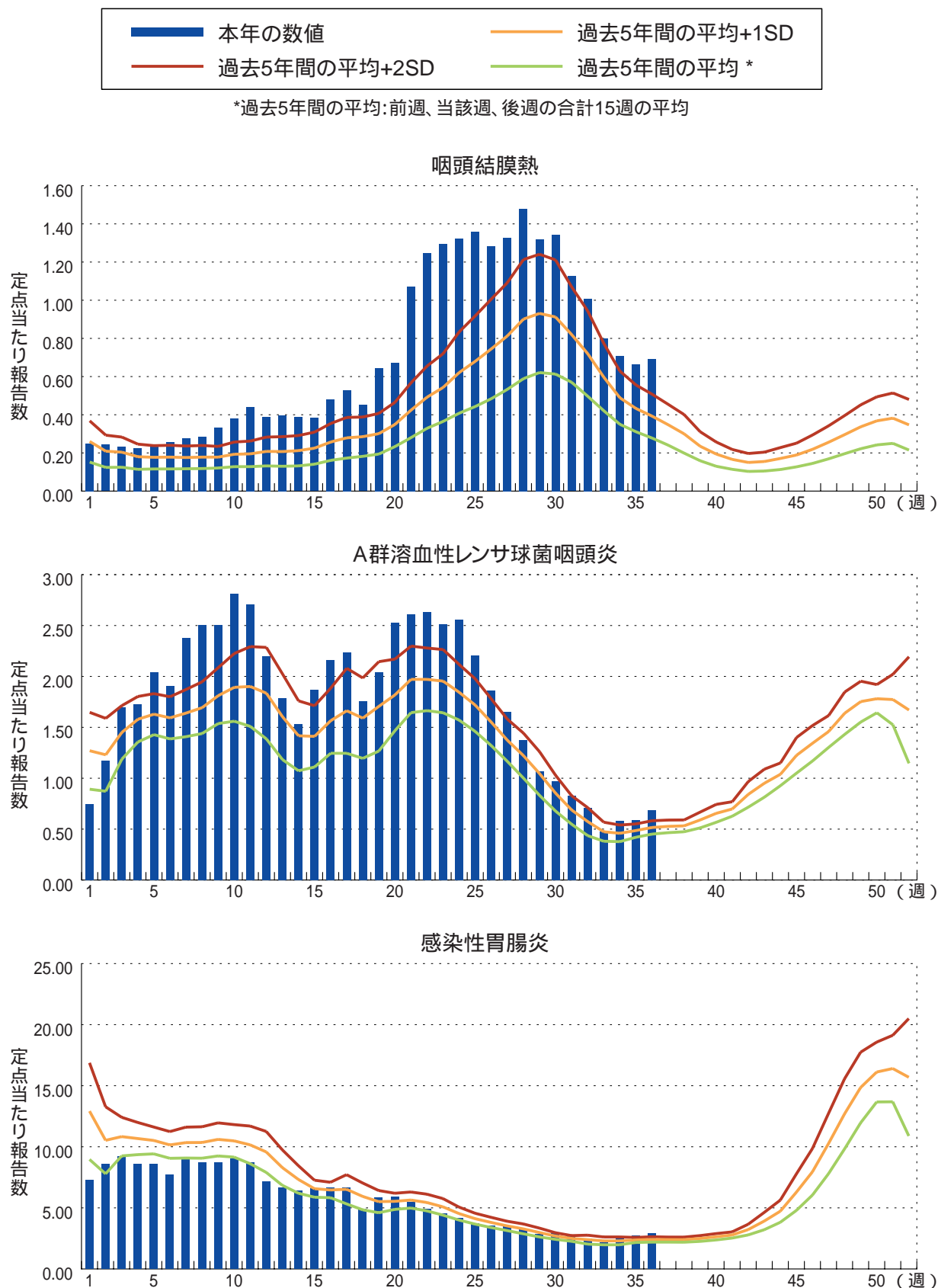
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ : 定点当たり報告数は微減した。都道府県別では沖縄県(0.26)、岐阜県(0.09)、長崎県(0.09)が多い。

小児科定点報告疾患 : RSウイルス感染症は109例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の82%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では高知県(2.5)、長野県(2.3)、三重県(2.2)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山形県(1.8)、鳥取県(1.8)、福島県(1.4)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(6.8)、熊本県(6.4)、大分県(5.9)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(1.17)、宮崎県(1.08)、熊本県(0.85)が多い。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では新潟県(5.8)、長野県(4.8)、石川県(4.3)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では岐阜県(0.75)、静岡県(0.74)、愛知県(0.64)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では千葉県(0.07)、長野県(0.07)、岐阜県(0.04)が多い。風しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では栃木県(0.02)、千葉県(0.01)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では北海道(1.6)、秋田県(1.5)、青森県(1.4)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では徳島県(0.06)、栃木県(0.02)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第31週以降、減少が続いている。都道府県別では新潟県(3.0)、鹿児島県(2.4)、大分県(2.3)が多い。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府(2.3)、群馬県(1.5)、愛媛県(1.3)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1 ~ 36週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

2006年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は第15週(27例)から増加が認められ、第20週(59例)に50例を超え、第21～25週は80例前後、第26～29週は140例前後で推移した。第30週(237例)に200例を超え、第31～33週は200例未満であったが、第34週に再び200例を越え、第35週は284例と本年最多の報告数となったが、第36週は158例と減少した(図1)。本年第36週までの累積報告数は2,752例であるが、今までのところ例年(2000年2,458例、2001年3,677例、2002年2,541例、2003年1,824例、2004年2,804例、2005年2,598例)と比べ、特に多いとは言えない。

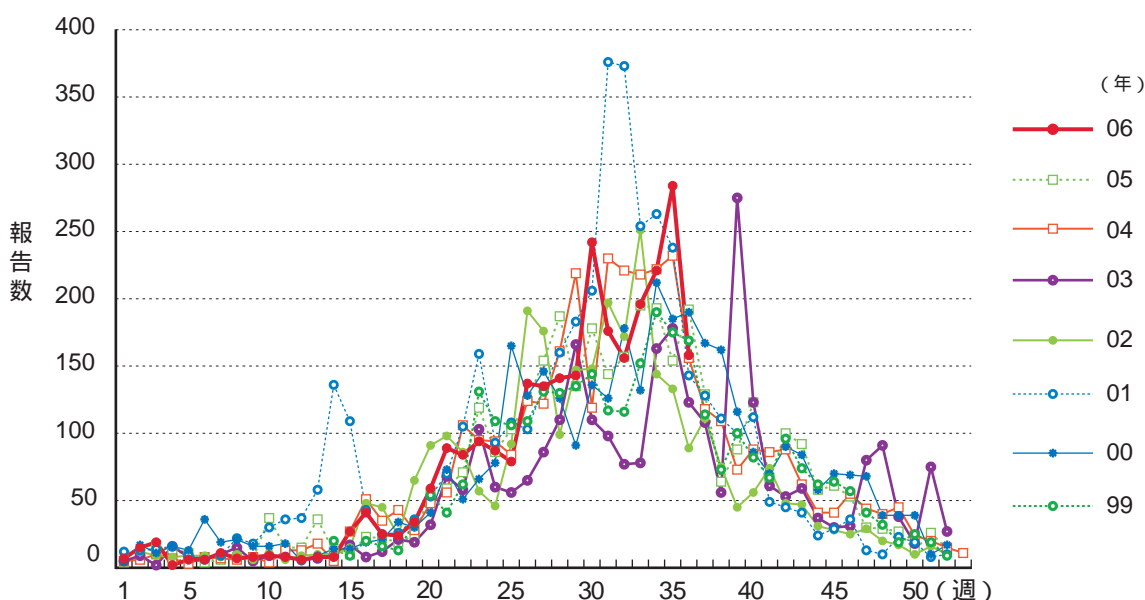


図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

第36週に診断された158例についてみると、報告の多かった都道府県は京都府(19例)、静岡県(16例)、徳島県(12例)、新潟県(10例)、大阪府(10例)であった(図2a)。また、2006年4月から国内を感染地域とする場合に県名などの詳細情報を届け出るようになったが、第36週に感染地域として多かった都道府県は、報告の都道府県とほぼ同様で、京都府(16例)、静岡県(16例)、徳島県(12例)、新潟県(10例)、大阪府(10例)であった(図2b)。そのうち京都府の14例、および徳島県の12例は保育施設に、また新潟県の9例は飲食店に関連した集団発生である。国外を感染地域とするものはなかった。性別では男性76例、女性82例であり、年齢階級別(10歳毎)では0～9歳(73例)が最も多く、46%を占めた。また有症状者は98例で、無症状病原体保有者が60例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。分離された菌の血清型・毒素型別では、O157 VT1・VT2(75例)、O26 VT1(35例)、O157 VT2(23例)の順に多かった。

第1～36週の累積報告数2,752例についてみると、報告の多かった都道府県は大阪府(221例)、東京都(188例)、愛知県(150例)、福岡県(136例)、神奈川県(130例)である(図3)。性別では男性1,309例、女性1,443例であり、年齢階級別(10歳毎)では0～9歳(1,190例)が最も多く、43%を占めている。性別・年齢群別にみると、0～9歳及び10～19歳では男性が女性より多

く、それ以上の年齢群では女性が男性より多い。また有症状者は1,834例(67%)で、無症状病原体保有者が918例である。性別・年齢群別に症状の有無をみると、30代、40代の男性、および30代、40代、50代の女性では無症状病原体保有者が多く、それ以外では有症状者が多い(図4)。分離された菌の血清型・毒素型では、O157 VT1・VT2(1,225例)、O26 VT1(577例)、O157 VT2(550例)の順に多かった。

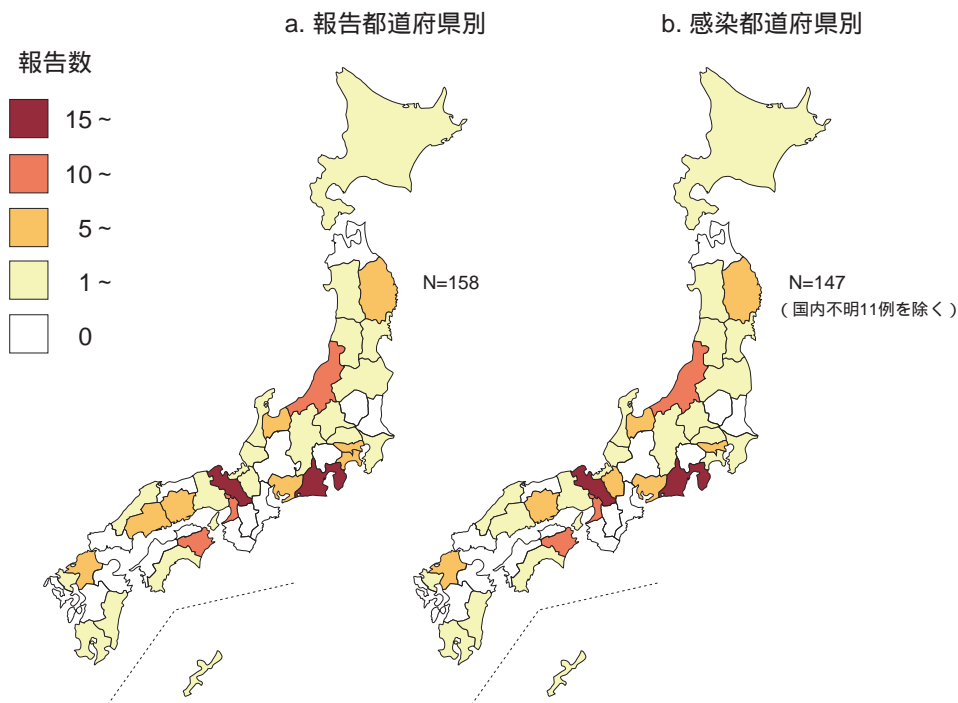


図2. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告・感染状況(2006年第36週)

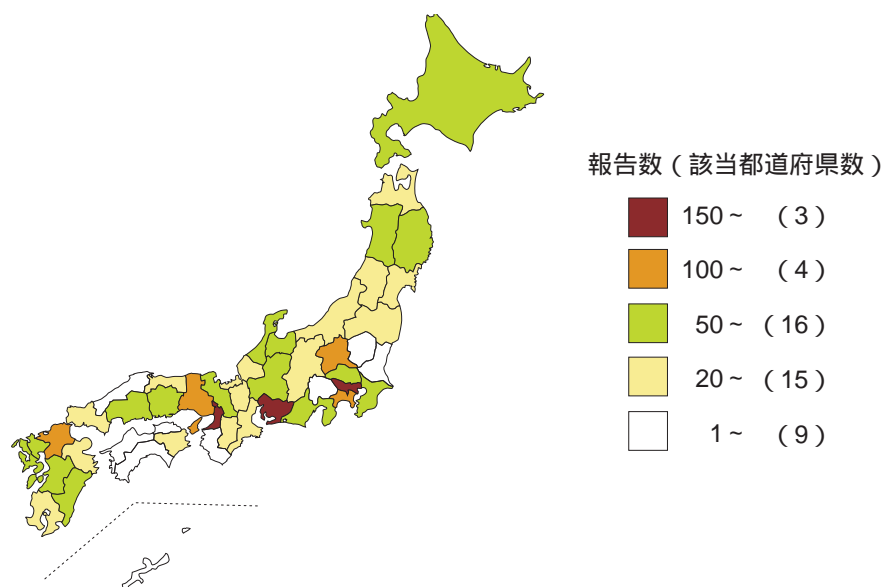


図3. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告状況(2006年第1 ~ 36週)

溶血性尿毒症症候群(HUS)は報告遅れ分や追加報告を含み、第36週に4例の報告があり、累積では68例となった(図4)。2006年4月からHUS発症例の届出は、病原体の分離ができない症例であっても、便から直接のペロ毒素の検出や、血清抗体の検出によって届出対象となった。上記68例のうち、便から直接のペロ毒素の検出によるものが1例、血清抗体の検出によるものが17例届け出られた。死亡については、第36週までに3例の報告があった。しかし、HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、発生があった場合の追加・修正報告をお願いしている。

2006年は飲食店や展示動物に関連した集団発生がみられている他、保育施設での集団発生が相次いでみられている。過去の発生状況からは流行のピークは越えつつあると予想されるものの、当分は発生の多い状況が続く可能性もあり、その発生動向には注意が必要である。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。また保育施設においては、特にオムツ交換時の手洗い、園児に対する食前の手洗い、排便後の手洗い指導を徹底する必要がある。

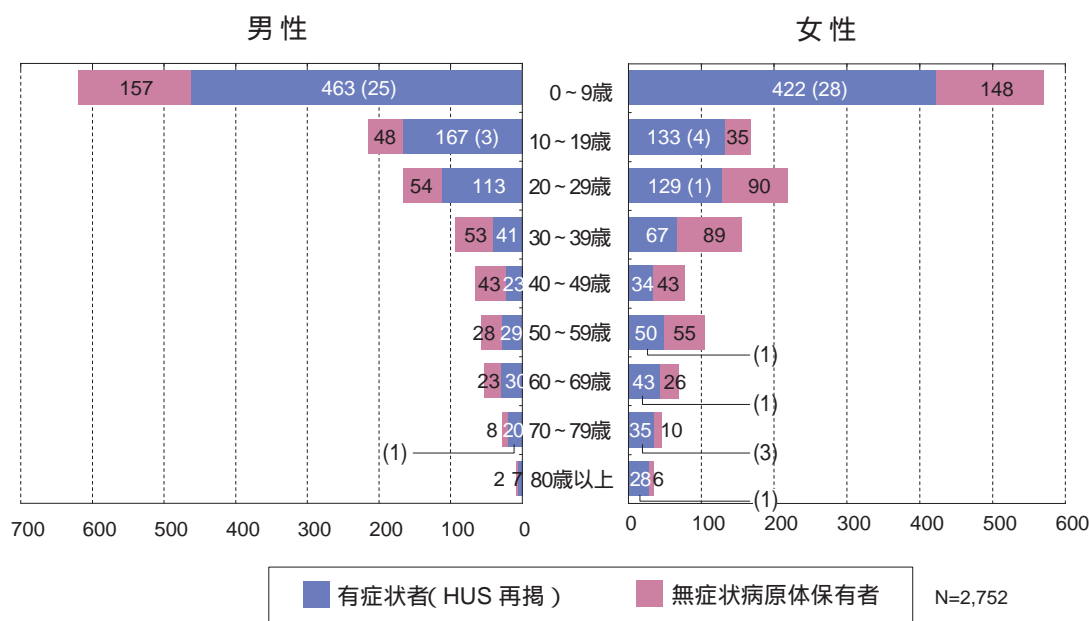


図4. 腸管出血性大腸菌感染症の性別・年齢群別・症状の有無別報告数(2006年第1 ~ 36週)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌(*Streptococcus pyogenes*)はその侵入部位や組織によって多彩な症状を引き起こす。また、本菌は稀ながら劇症型溶血性レンサ球菌感染症を生ずることがあるが、その発生機序は解明されていない。本稿では、通常小児の間で発生し、感染症法によって5類感染症定点把握疾患と定められているA群溶血性レンサ球菌咽頭炎について述べる。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は本邦を含めた温帯地域を中心に、広く世界的に分布している。感染経路としてはヒトからヒトへの飛沫感染が主であるが、食品を介する経口感染もあると言われている。潜伏期間は1～4日であり、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴う。通常、発熱は3～5日以内に消退し、主症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患であるが、菌が産生する毒素に免疫のない場合は猩紅熱を生じる場合がある。治療にはペニシリン系薬が第1選択薬とされるが、薬剤アレルギーがある場合はマクロライド系薬やセフェム系薬を投与する。抗菌薬は、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの非化膿性合併症の予防のために、少なくとも10日間投与することが必要である。

感染症発生動向調査によると本疾患は例年、主に春季を中心として流行し、その後夏季に入ると急速に減少し、第33週前後に最低値を記録した後、冬季の流行に向かって増加している(図1,2)。2000年以降では2004年に増加がみられ、2005年はやや減少したものの(図3)、2006年はさらに増加しており、第36週現在の累積報告数は191,527(定点当たり累積報告数63.76)で、2004年の同時期を上回っている。

2006年では第36週までの都道府県別の定点当たり累積報告数は、新潟県(129.9)、山形県(115.3)、鳥取県(112.3)、北海道(100.6)の順に高い(図4)。また、年齢別では例年と同様、4～7歳が全体の半数を超えて発生の中心であり、7歳以下が全体の70%以上を占めている(図5)。

本疾患は今後、冬季のピークに向かって発生が増加するものと思われる、その発生動向には注意深い観察が必要である。

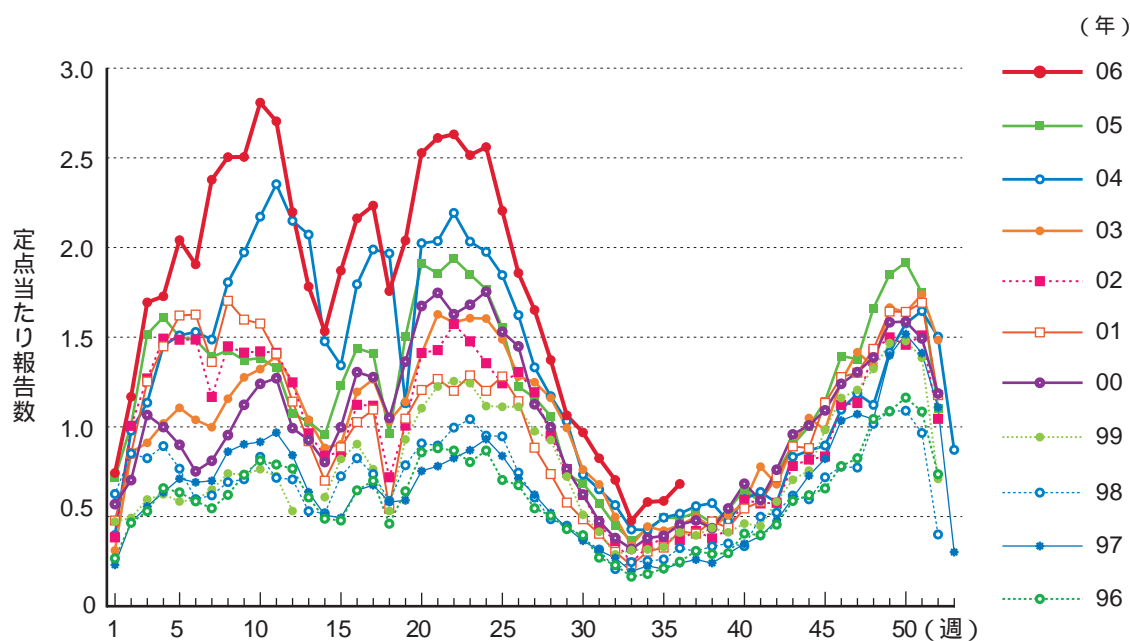


図1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別・週別発生状況

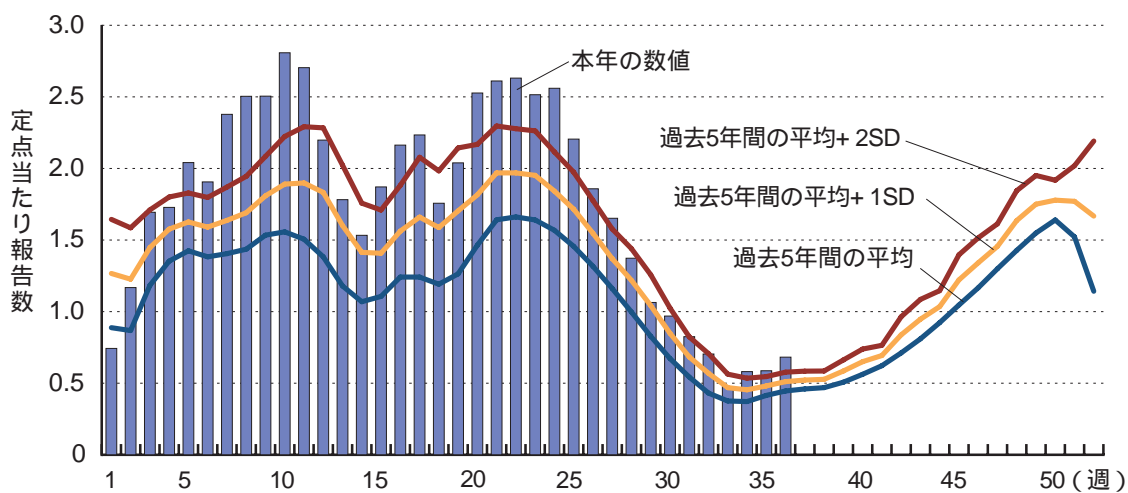


図2. 2006年のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の過去5年間との週別比較

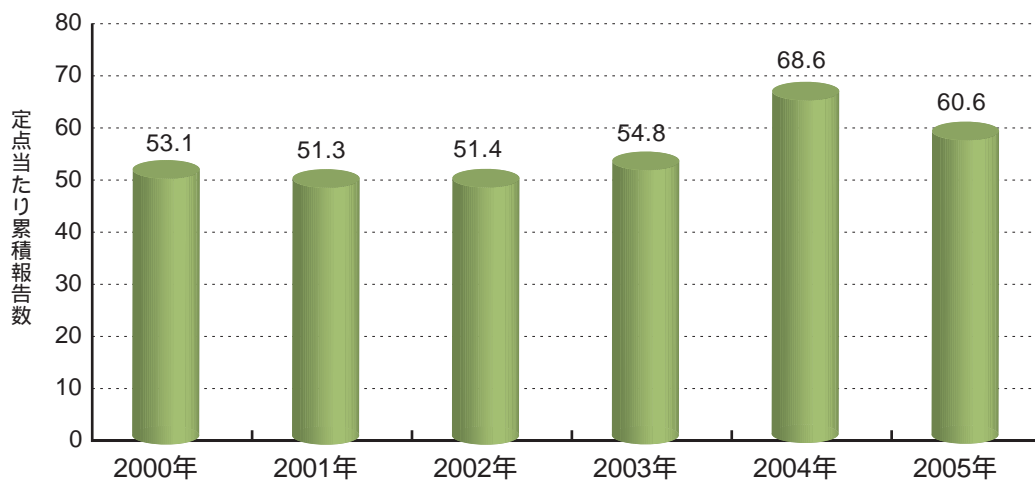


図3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別発生状況(2000 ~ 2005年)

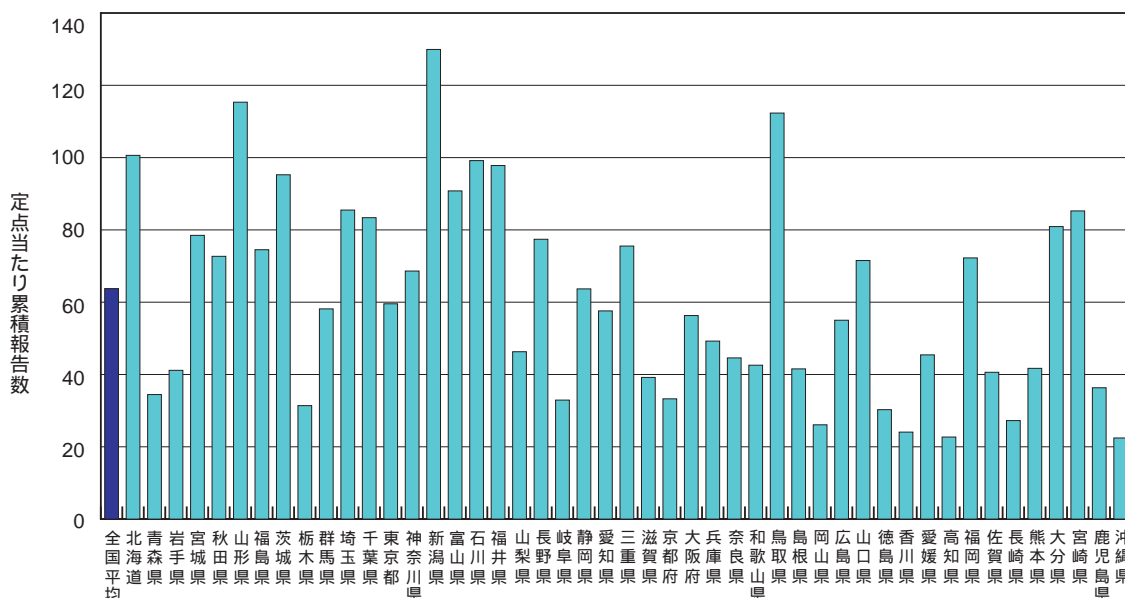


図4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の都道府県別報告数(2006年第1～36週)

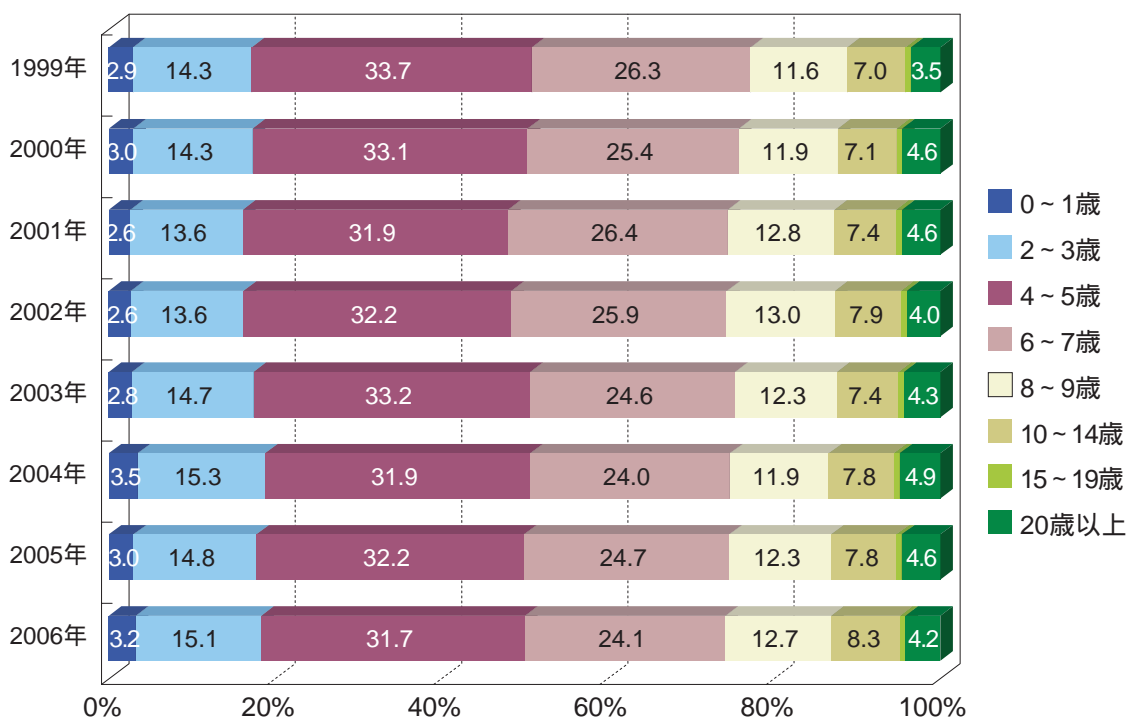


図5. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告症例の年別・年齢群別割合(1999～2006年第36週)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

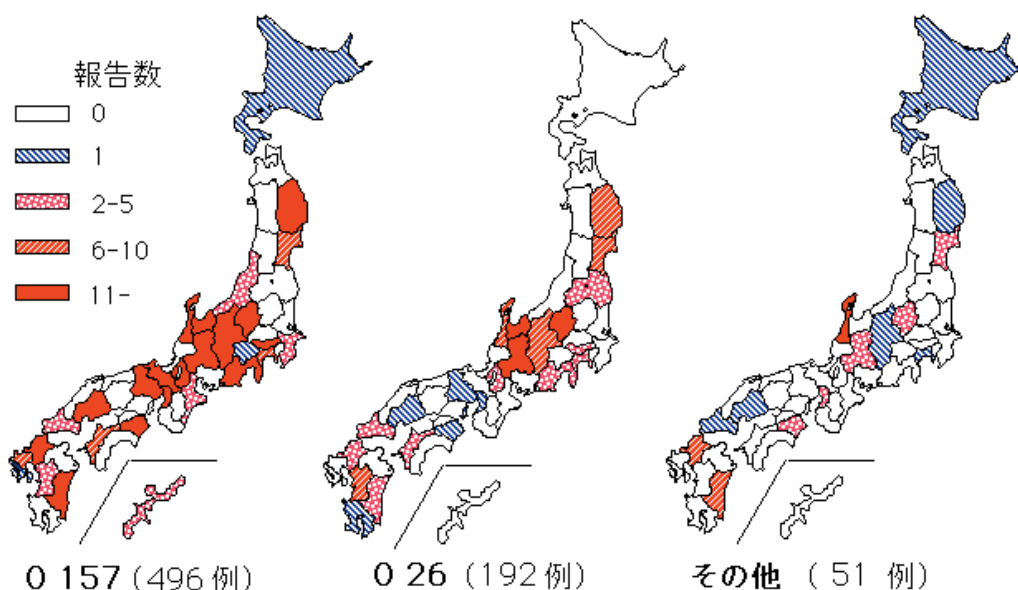
(2006年9月14日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年

2006年の検出総数は739件で、O157が496件、O26が192件、その他の血清型が51件報告されている。富山県では第35週に、O157による保育所での集団発生例が報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年9月14日現在報告数)



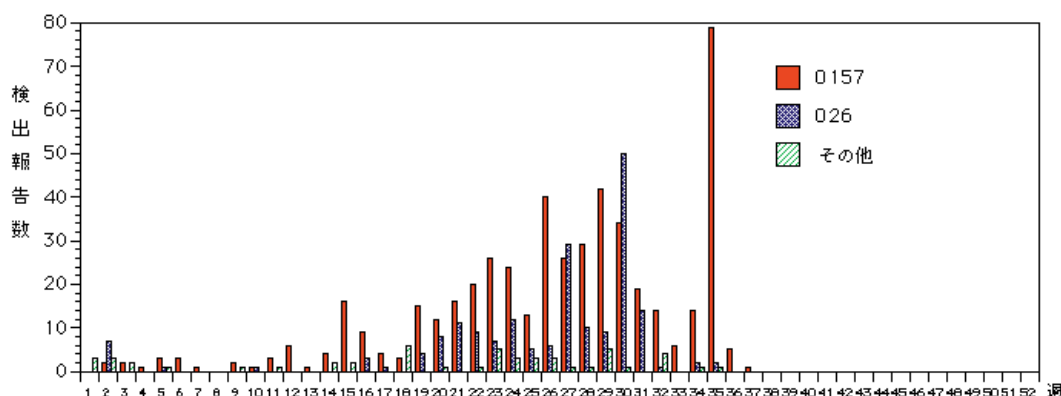
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2006年

(病原微生物検出情報：2006年9月14日現在報告数)



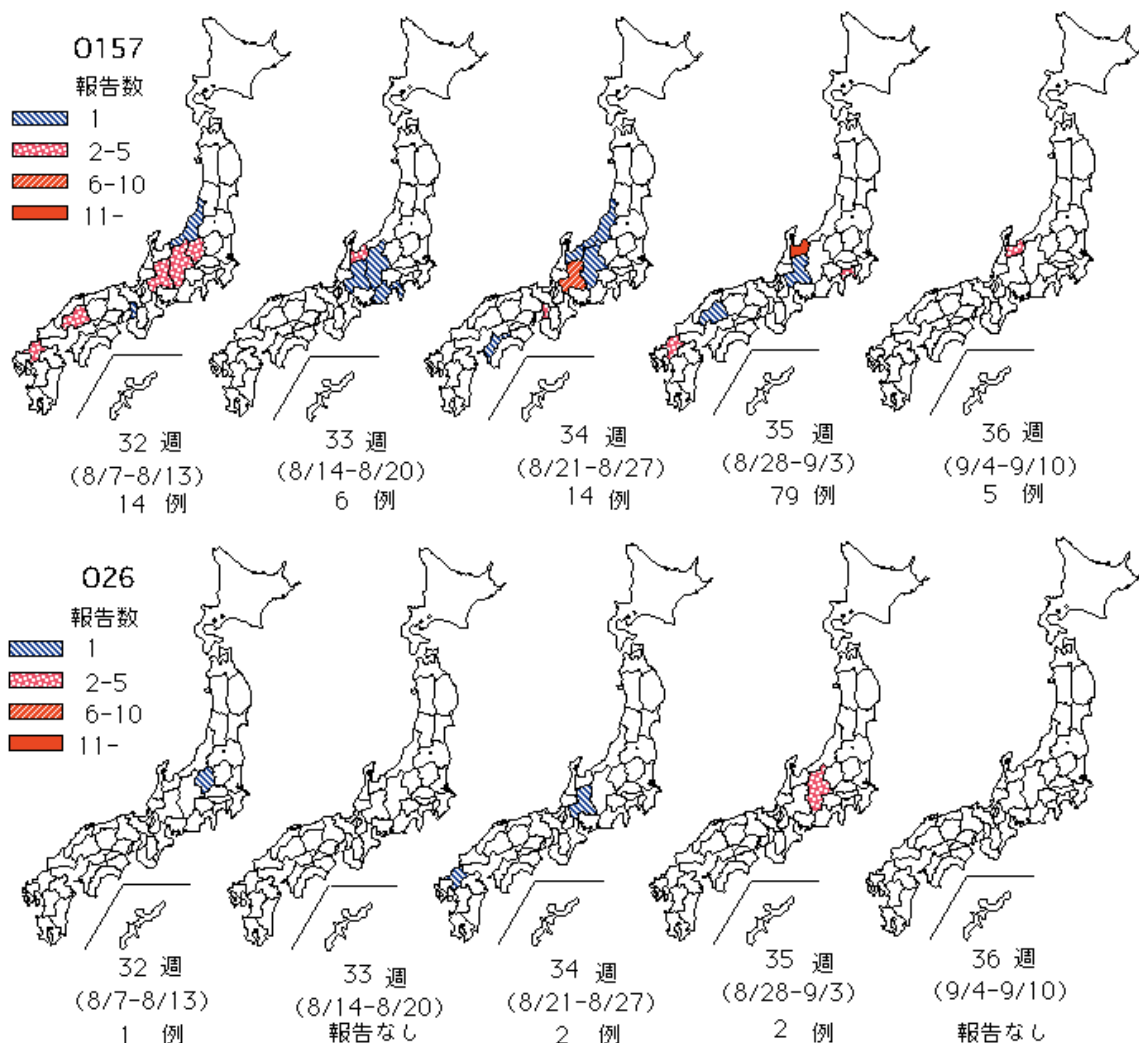
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年第32週～第36週

(病原微生物検出情報：2006年9月14日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



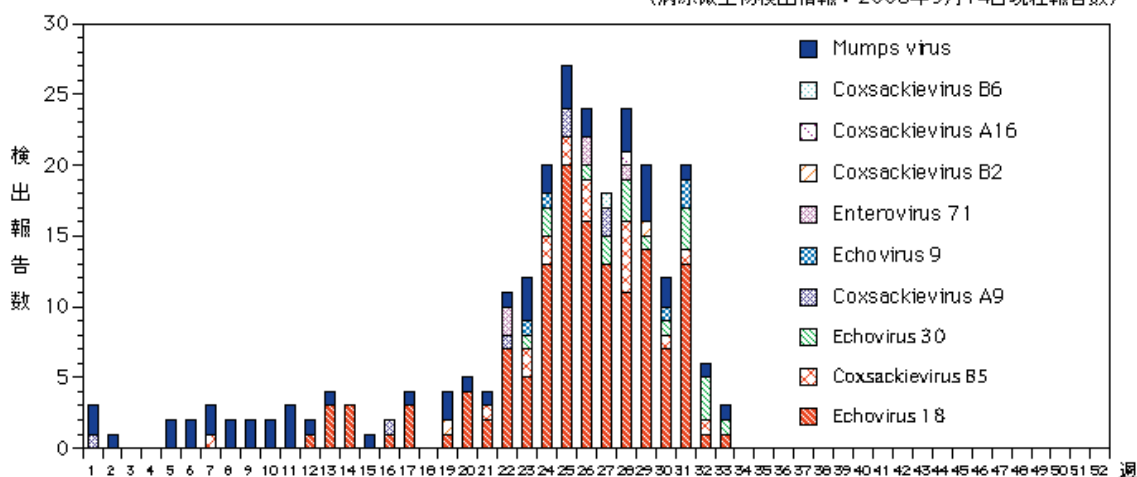
Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2006年

2006年の検出総数は275件で、エコーウイルス(E)18が139件、ムンプスウイルスが49件、コクサッキーウイルス(C)B5が19件、E30が18件、CA9が7件、E9とエンテロウイルス71が各5件などが報告されている。大分県ではE18の流行が続く中で、小学校での集団感染が報告されている(本号15ページ「速報」参照)。福井県ではCB5が主に検出されている(本号16ページ「速報」参照)。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告数、2006年

(病原微生物検出情報：2006年9月14日現在報告数)

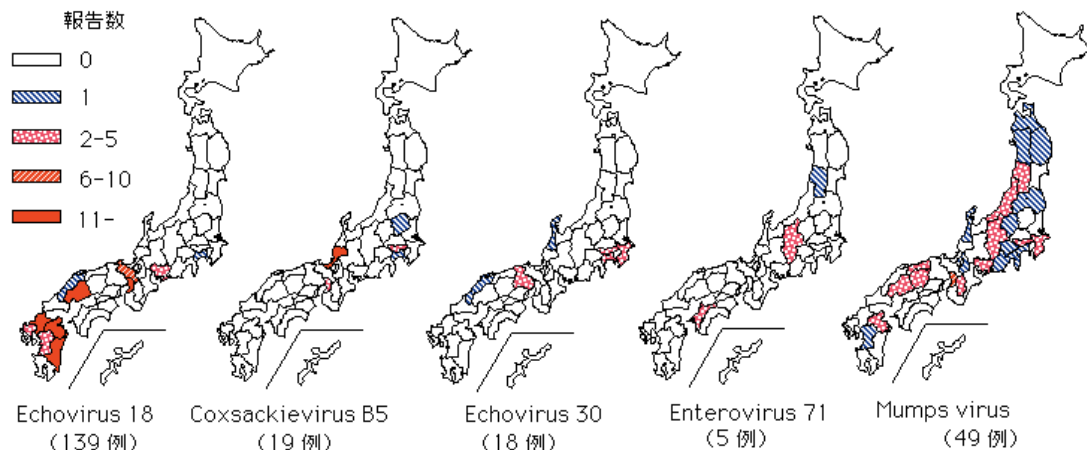


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年9月14日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。

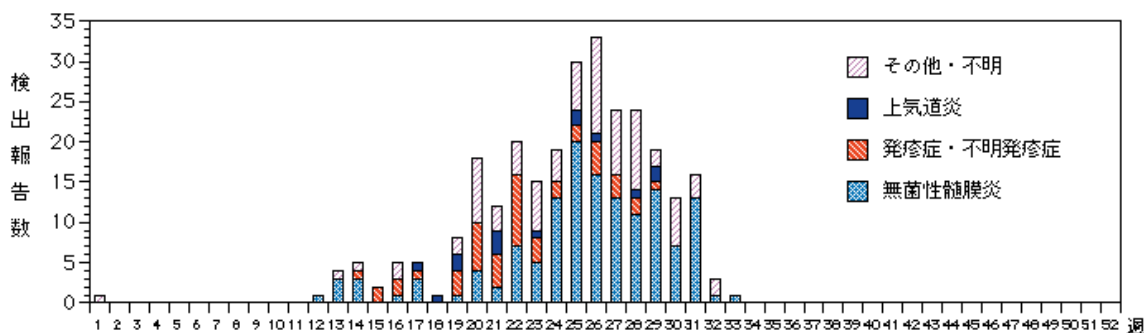


エコーウイルス18型 2006年

第12週以降検出が続いており、第19～26週にかけて増加している。西日本を中心に検出されており、無菌性髄膜炎139件、発疹症・不明発疹症45件、不明熱23件、上気道炎14件、インフルエンザ、感染性胃腸炎各6件、ヘルパンギーナ5件、手足口病、咽頭結膜熱、夏かぜ各4件など、計279件からの検出が報告されている。

週別Echovirus 18分離 - 検出報告数、2006年

(病原微生物検出情報：2006年9月14日現在報告数)



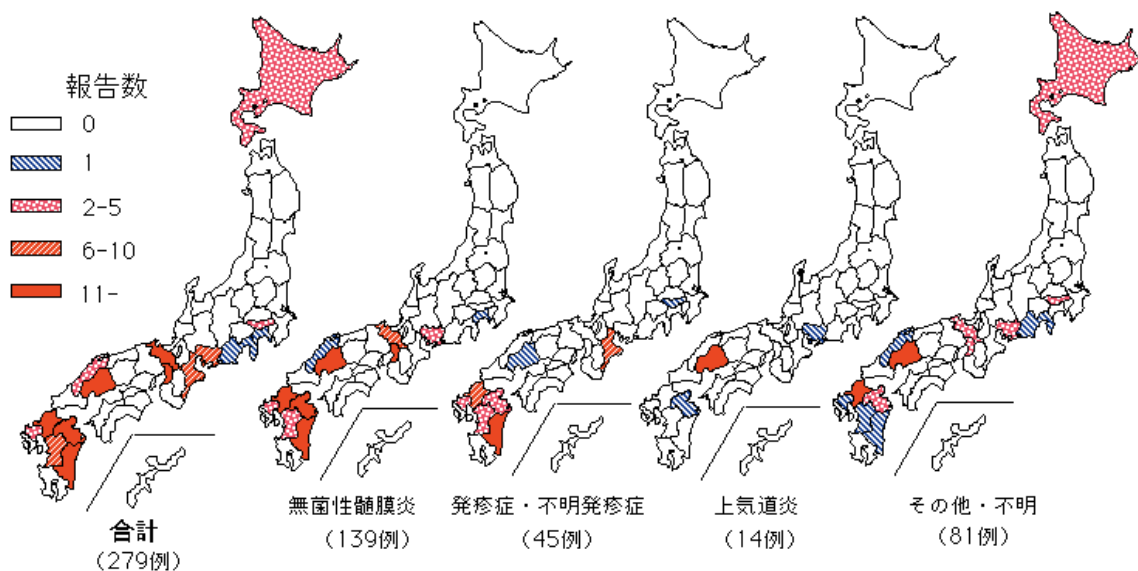
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別診断名別Echovirus 18分離 - 検出報告状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年9月14日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



小学校におけるエコーウイルス18型の集団感染事例 - 大分県

2006年6月、大分県内の小学校においてエコーウイルス18型による髄膜炎の集団感染事例を経験したので、その概要を報告する。

6月23～28日の期間に、A小学校(21学級、児童数714名、教職員34名)の1年生が発熱、嘔吐、頭痛等の症状を訴え、多数欠席している旨の通報が管轄の県民保健福祉センターになされた。県民保健福祉センターによる聞き取り調査の結果、クラス24名中18名に症状が認められ、その主徴は37.7～40 の発熱、嘔吐、頭痛で、他に腹痛、下痢、咳、咽頭痛がみられた。17名が医療機関を受診し、4名が入院し、うち1名が髄液検査で無菌性髄膜炎と診断された。他の学級および学年には有症者はみられない等の情報を得た。県民保健福祉センターでは患者発生状況等の情報収集を継続するとともに、二次感染予防のため、教室、トイレの消毒を行い、児童および保護者に対し、うがい・手洗いを徹底するよう指導するなどの拡大防止対策を実施した。

患者発生状況は23日3名、24日3名、25日6名、26日3名、27日2名、28日1名で、欠席者は延べ45名であった。29日、30日の学級閉鎖以後、同様の症状を呈する児童の報告はない。家族内感染については、1家族で患児の妹に認められたものの、他の17家族には認められなかった。

ウイルス検査は有症者18名のうち了解が得られ、当センターに搬入された11名(うち1名は有症者の妹)の糞便を用いて実施した。ウイルス分離にはHEp-2細胞、RD-18S細胞、Vero細胞およびCaCo-2細胞を用いた。遺伝子検出はRT-PCR法にて、1st PCRではMD91/OL68、2nd PCRではEVP4/OL68-1プライマーを用いて行った。A群ロタウイルスおよびアデノウイルス抗原検出には、市販キット(イムノクロマト法)を使用した。

ウイルス分離では、CaCo-2細胞は11検体すべてに、RD-18S細胞は8検体に細胞変性効果が認められた。分離ウイルスはデンカ生研製エンテロウイルス抗血清を用いた中和法により、エコーウイルス18型と同定された。分離された11株のRT-PCRダイレクトシーケンスでは、VP4-VP2領域の塩基配列が一致した。A群ロタウイルスおよびアデノウイルスはすべて陰性であった。

以上の結果から、今回の事例は教室内で感染したエコーウイルス18型による無菌性髄膜炎の集団感染と考えられた。大分県内では5月下旬以降、エコーウイルス18型による無菌性髄膜炎の流行が続いており¹⁾、今後も動向を注意深く監視する必要がある。

文 献

- 1) 吉用省三、他: IASR 速報 <http://idsc.nih.gov/iasr/rapid/pr3192.html>

大分県衛生環境研究センター微生物担当

吉用省三 長岡健朗 小河正雄 川島眞也 淵 祐一

(IASR 2006年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

無菌性髄膜炎患者からのB群コクサッキーウイルス5型の 分離状況 - 福井県

福井県での感染症発生動向調査病原体検査における無菌性髄膜炎患者由来検体の搬入数は、2002年のエコーウイルス13型による流行、2003年のB群コクサッキーウイルス1型による流行の終息後は少数にとどまっていた。しかし、2006年6月下旬以降、病原体検査定点からの検体搬入が急増し、主にB群コクサッキーウイルス5型(CB5)が分離されているので、その概況を報告する。

2006年9月10日までに小児科より、ウイルス分離のために31症例からの検体(髄液30検体、糞便10検体、咽頭ぬぐい液9検体)が搬入された。CB5が分離されたのは16症例(髄液12検体、糞便7検体、咽頭ぬぐい液3検体)で、他にB群コクサッキーウイルス6型が1症例(髄液1検体)から分離されている。また、手足口病および熱性けいれんの臨床診断名で搬入された1症例からもCB5が分離され(髄液・糞便・咽頭ぬぐい液の3検体のうち、糞便1検体のみ分離陽性)、今シーズンのCB5の分離は計17症例となっている。

CB5分離株は、CaCo-2およびHEp-2細胞でエンテロウイルス様の細胞変性効果を示し、単味抗血清で容易に中和された。流行初期(第24～26週)に採取された検体については、髄液4検体ではHEp-2細胞でのみ分離陽性となったことなど、培養細胞の種類による分離率の差がみられたが、第27週以降の検体ではその差は認められなかった。

患者の年齢分布は0歳と4～8歳に集中した。また神経内科からは、成人における無菌性髄膜炎の発生数が例年に比べ多いとする情報もあり、成人の検体も7症例受け付けたが、今のところウイルス分離陽性例はない。

定点医療機関における無菌性髄膜炎患者報告数は、第23週に今シーズンの初発患者が報告されてからはゆるやかに増加し、第30週の13名をピークにいったん減少へ転じたものの、依然として患者発生が続いており、今後も動向に注意したい。

なお、福井県内でCB5が複数分離されたのは1994年以来のことであった。

福井県衛生環境研究センター

東方美保 中村雅子 川畑光政 浅田恒夫

(IASR 2006年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2006年9月14日 - 更新31

インドネシア保健省は、新たなH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者2名を確定した。今回の患者は2006年3月と5月に発生した。

1例目の患者はWest Java州、East Bekasiの5歳男児である。2006年3月4日に発症し、6日に入院し、19日に死亡した。第11病日と第15病日に採取された2本の血清検体を用い、2つの異なる方法を用いて検査したところ、H5N1に対する抗体が高値であった。これらの検査結果は、WHOの新しい診断基準(検査による診断確定)に合致している。当時実施されたフィールド調査において、患者は自宅の近所で発病した家禽に曝露されていたことが判明した。現地では、一部の家禽が検査でH5亜型ウイルスが陽性となっていた。

2例目の患者はWest Sumatra州、Solokの27歳男性である。15歳になるその妹は2006年5月17日に発症し、その後H5N1型ウイルスの感染が確認されたが、この男性はその妹についての接触者調査の際にみつかった。男性は妹の入院中、介護のために6日間付き添った。2006年5月28日に咳嗽、腹部不快感といった軽症の症状で発病したが、発熱はなかった。症状は増悪することなく、数日で回復した。

男性の症状は軽症で典型的でなかったが、保健省の接触者追跡調査および有症状接触者の扱いに関するプロトコールの一環として、検査が行われた。男性は2006年6月1日から5日間にわたって、オセルタミビル投与を受け、回復するまで自主的に隔離措置を受けた。

この27歳男性から採取された検体での当初の検査は、H5N1型感染について陰性であった。8月にはペア血清を用いた追跡検査により、H5N1型株に対する中和抗体価が4倍に上昇したことが確認されたが、この検査結果は、WHOの検査による診断確定の基準に合致している。

この男性は、発症前数日間は妹の看病のために大部分を病院内で過ごしたため、発病したり死亡した鳥類との接触はなかったと報告した。調査により、男性は妹の入院中に曝露を受け、感染原因としてヒト・ヒト伝播が除外できないと結論された。

今回、遡って症例が確定されたことにより、インドネシアでの合計患者数は65名となった。このうち、49名が死亡している。

米国における大腸菌O157:H7の流行

米国食品医薬品局FDA 2006年9月14日

FDAは、農産物の摂食により複数の州で発生した大腸菌O157:H7の感染流行に関する注意喚起を出した。疫学調査の暫定結果からは、集団発生の原因が袋入り生ホウレンソウである可能性が示唆された。FDAは、現時点では袋入り生ホウレンソウを食べないよう勧めている。本日までに50人の患者報告がなされ、うち8人が溶血性尿毒症症候群を発症し、1人が死亡している。

米国食品医薬品局FDA 2006年9月18日

症例の報告: 大腸菌感染症の患者数としては死亡者1名、HUS患者18名、入院患者60名を含み、114名がCDCへ報告されている。

患者発生がみられた州: カリフォルニア、コネチカット、アイダホ、イリノイ、インディアナ、ケンタッキー、メイン、ミシガン、ミネソタ、ネブラスカ、ネバダ、ニューメキシコ、ニューヨーク、オハイオ、オレゴン、ペンシルバニア、ユタ、ヴァージニア、ワシントン、ウィスコンシン、ワイオミングの各州

消費者へのアドバイス: FDAは消費者に対し、今後の通知が出るまでは生のハウレンソウ、あるいは生のハウレンソウを含む食品の摂食を避けるよう勧めている。

また、生のハウレンソウやそれを含む食品を摂食した後に発病したと思われる場合には、医療機関を受診するよう勧めている。

米国CDC 2006年9月18日

9月18日午後1時(東部標準時)現在、大腸菌O157:H7による集団感染例として21州から114名が報告されている。このうち60名(53%)が入院し、18名(16%)がHUSと呼ばれるタイプの腎障害を呈し、ウィスコンシン州の成人1名が死亡している。85名(75%)が女性で、5名(5%)が5歳以下の小児であった。発病日が報告された患者のうち、92%が8月19日~9月5日に発病していた。

患者報告を行った州は、カリフォルニア(1名)、コネチカット(2)、アイダホ(4)、イリノイ(1)、インディアナ(8)、ケンタッキー(6)、メイン(2)、ミシガン(4)、ミネソタ(2)、ネブラスカ(1)、ニューメキシコ(5)、ネバダ(1)、ニューヨーク(7)、オハイオ(10)、オレゴン(5)、ペンシルバニア(4)、ユタ(5)、ヴァージニア(1)、ワシントン(2)、ウィスコンシン(32)、およびワイオミング(1)であった。

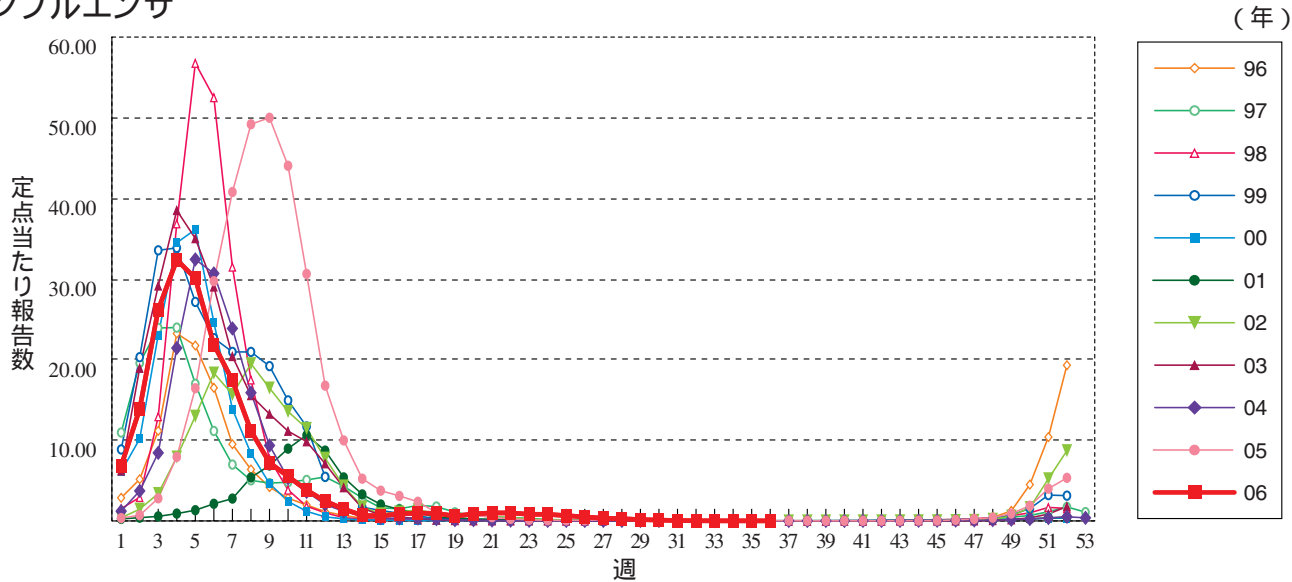


感染症の話

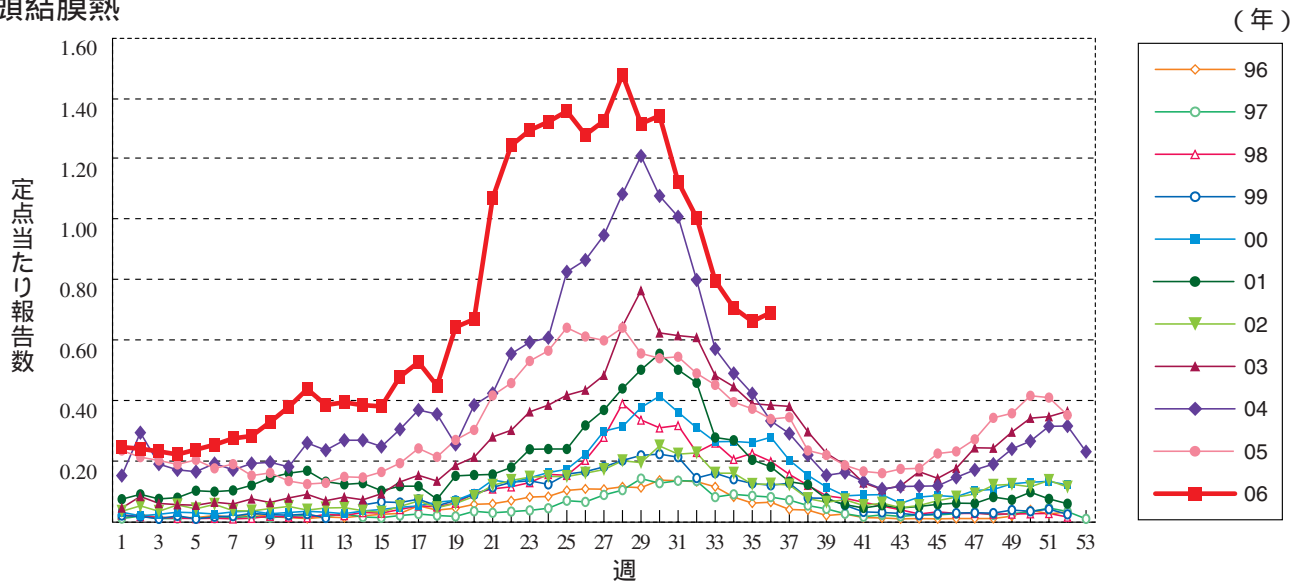
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(36週)

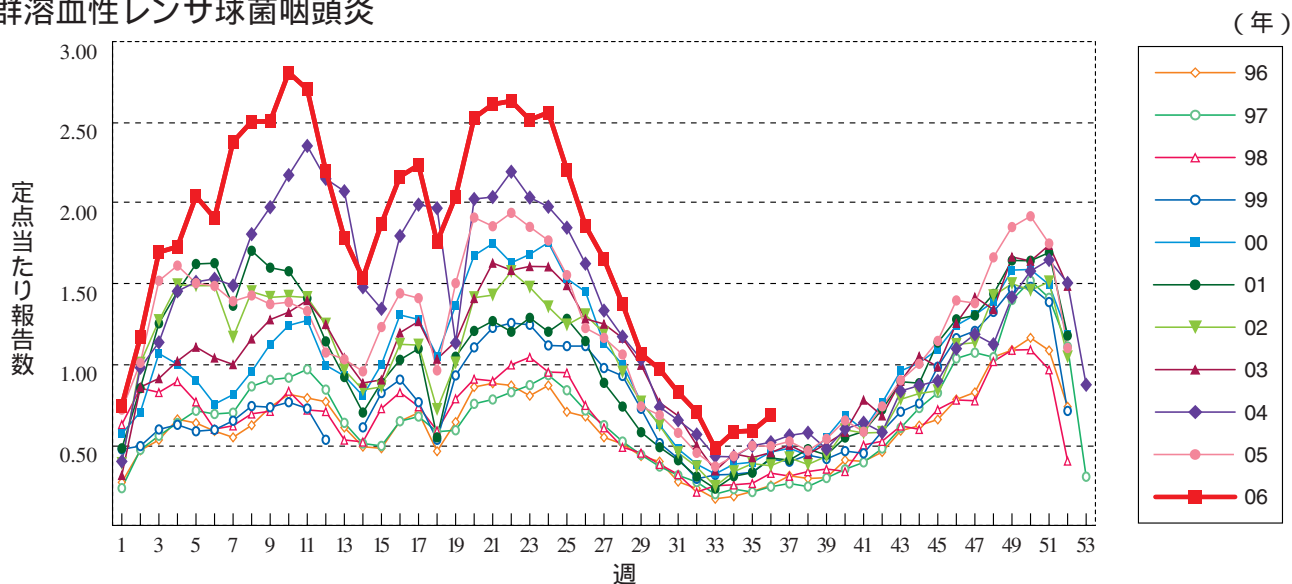
インフルエンザ



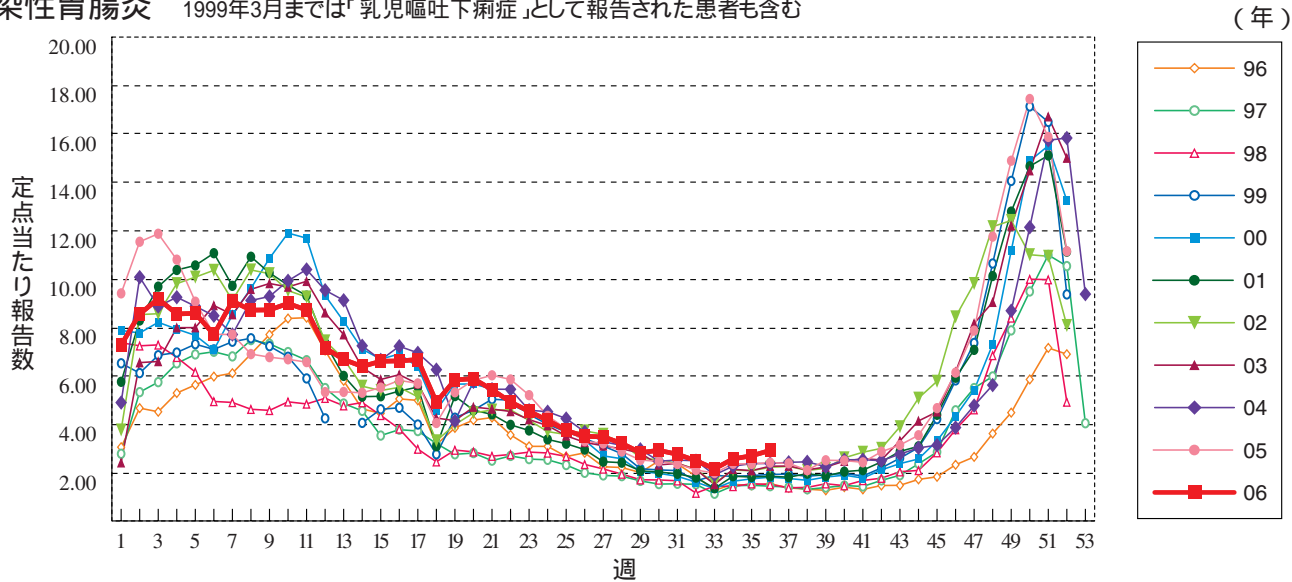
咽頭結膜熱



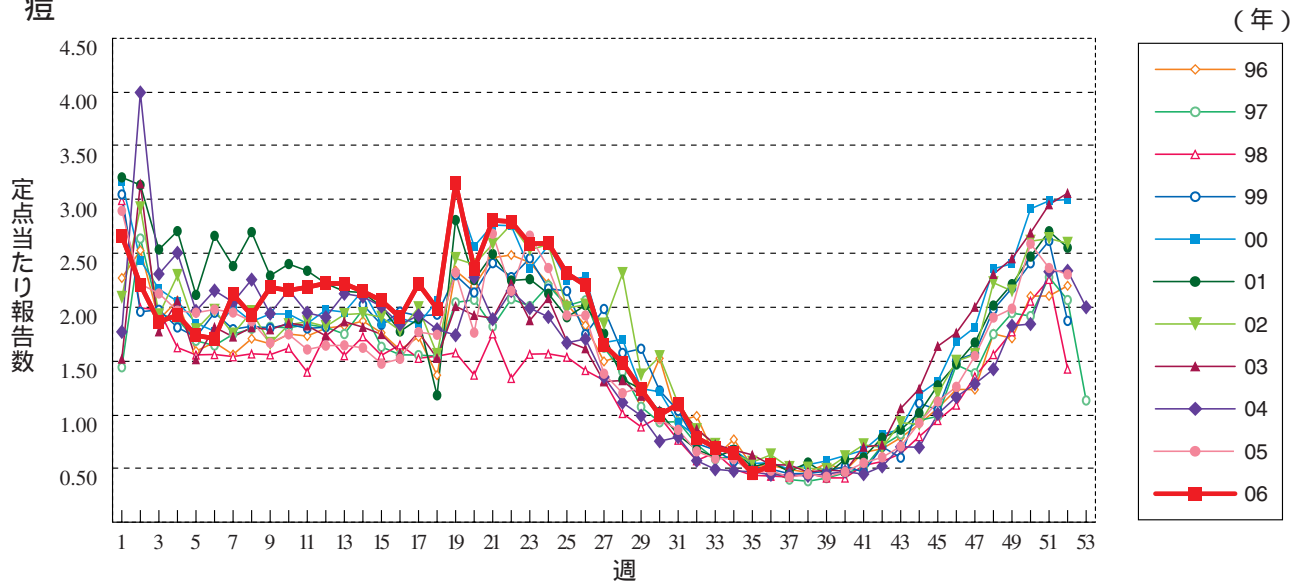
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



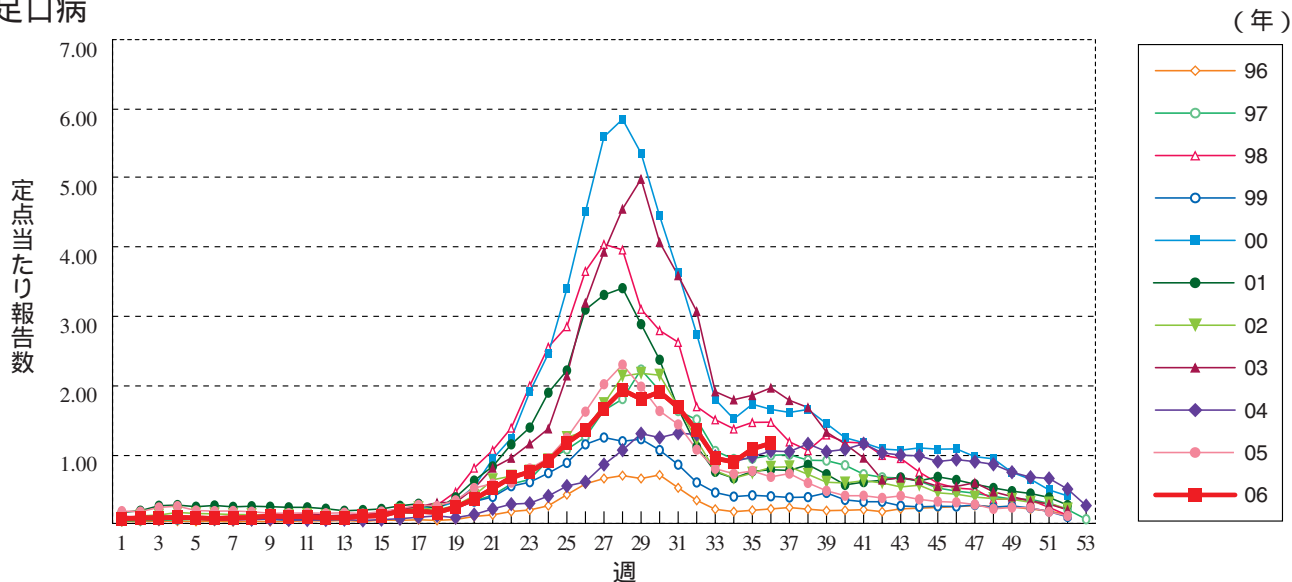
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



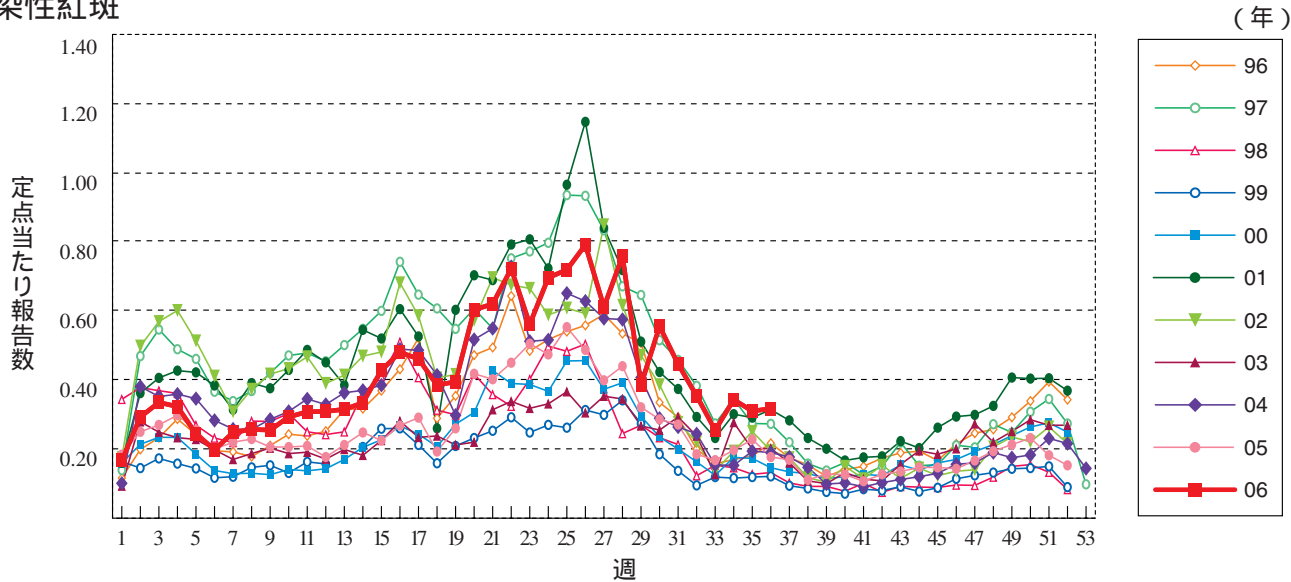
水痘



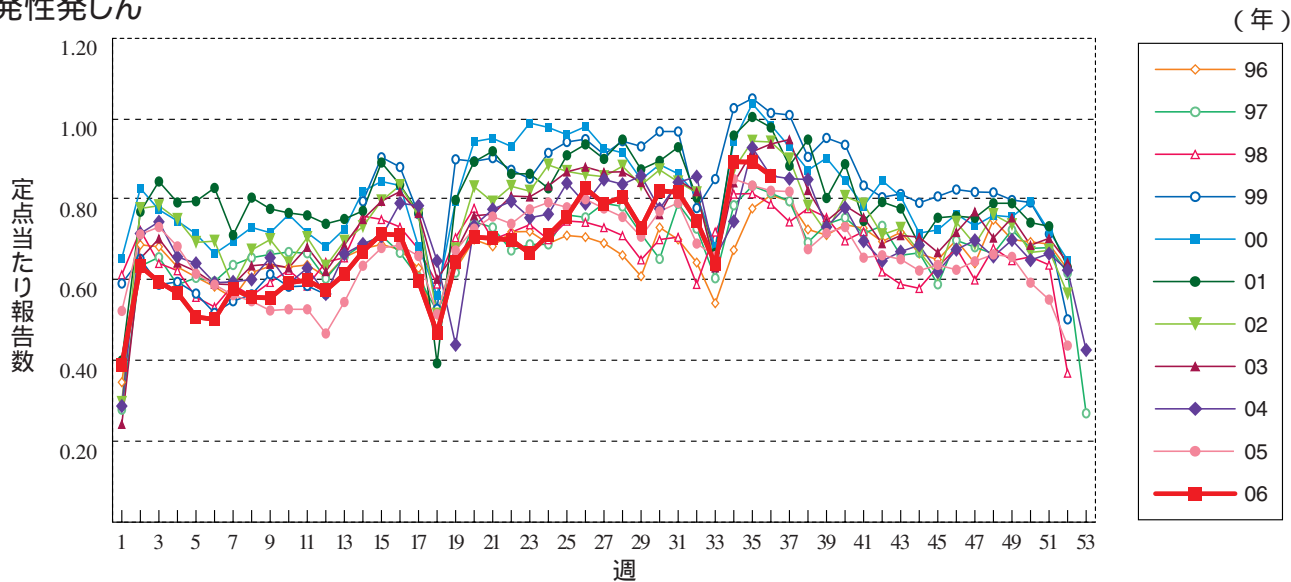
手足口病



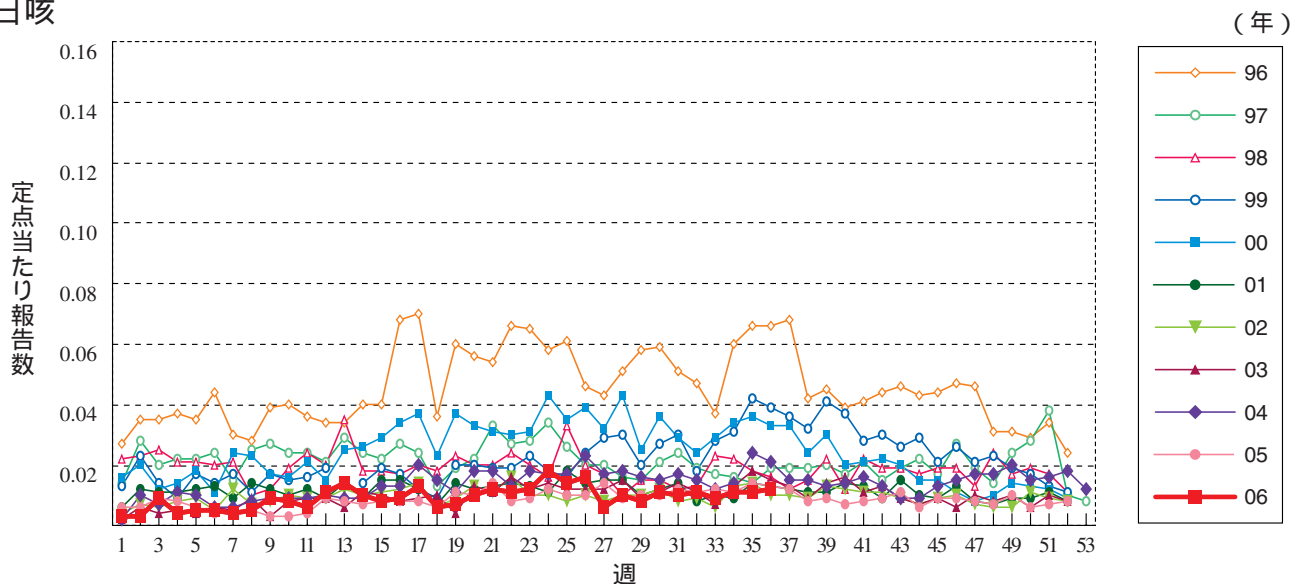
伝染性紅斑



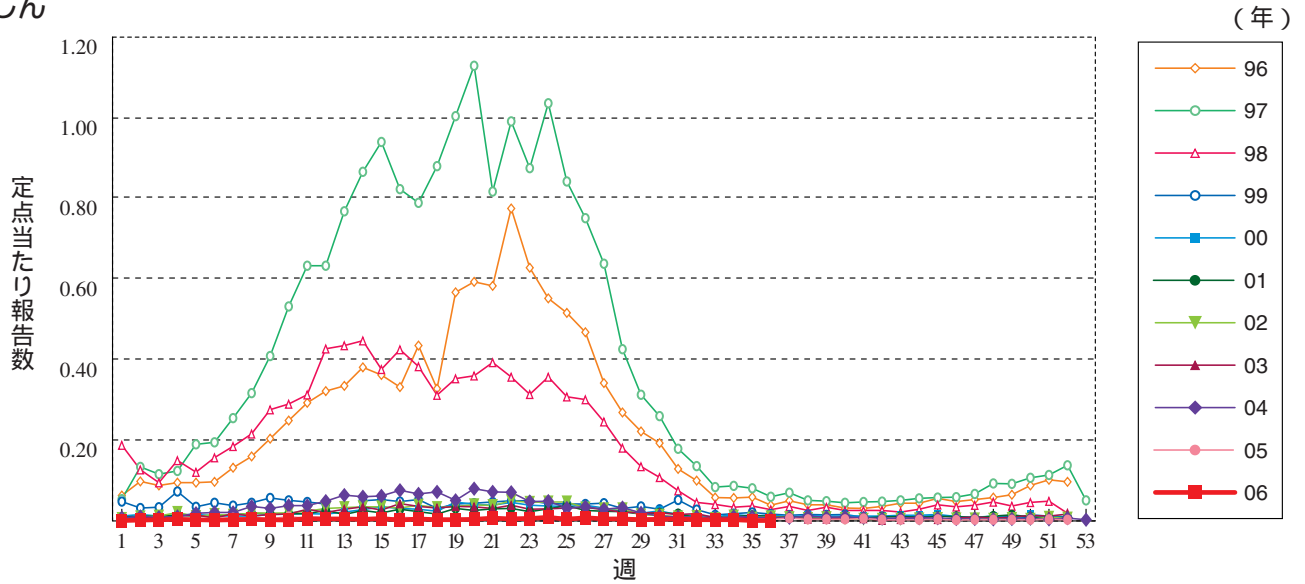
突発性発しん



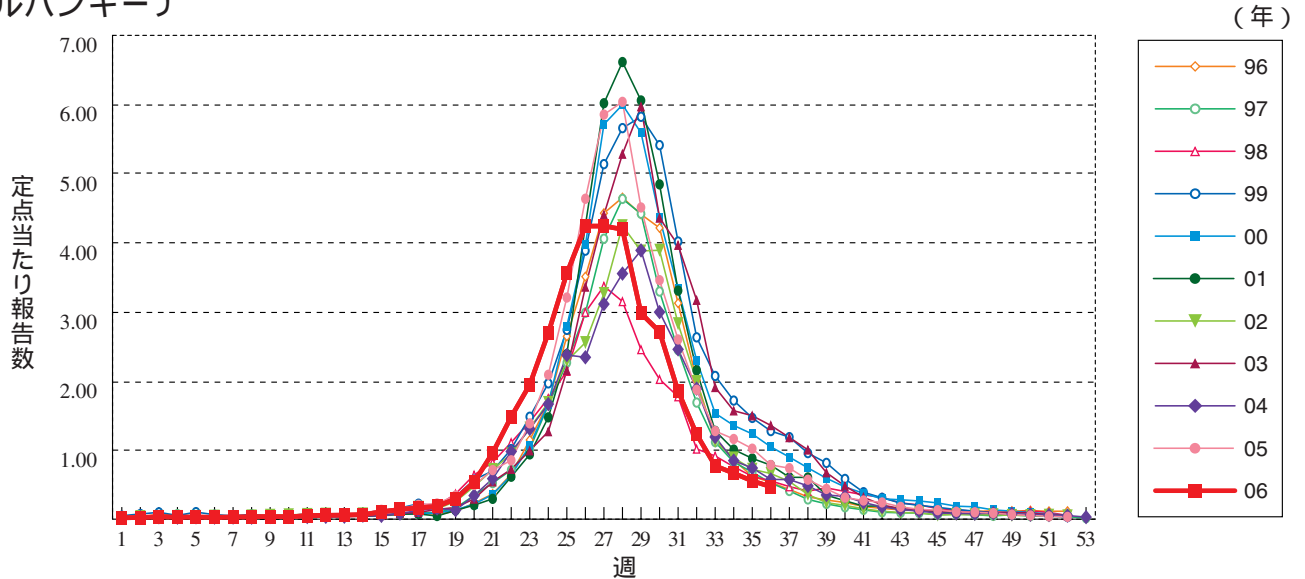
百日咳



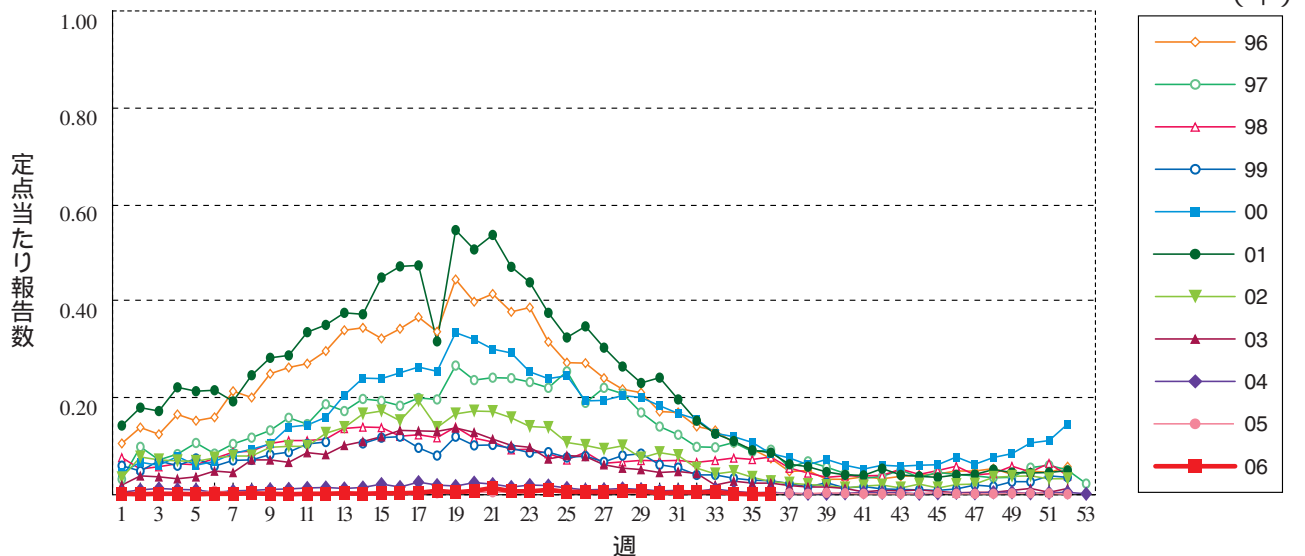
風しん



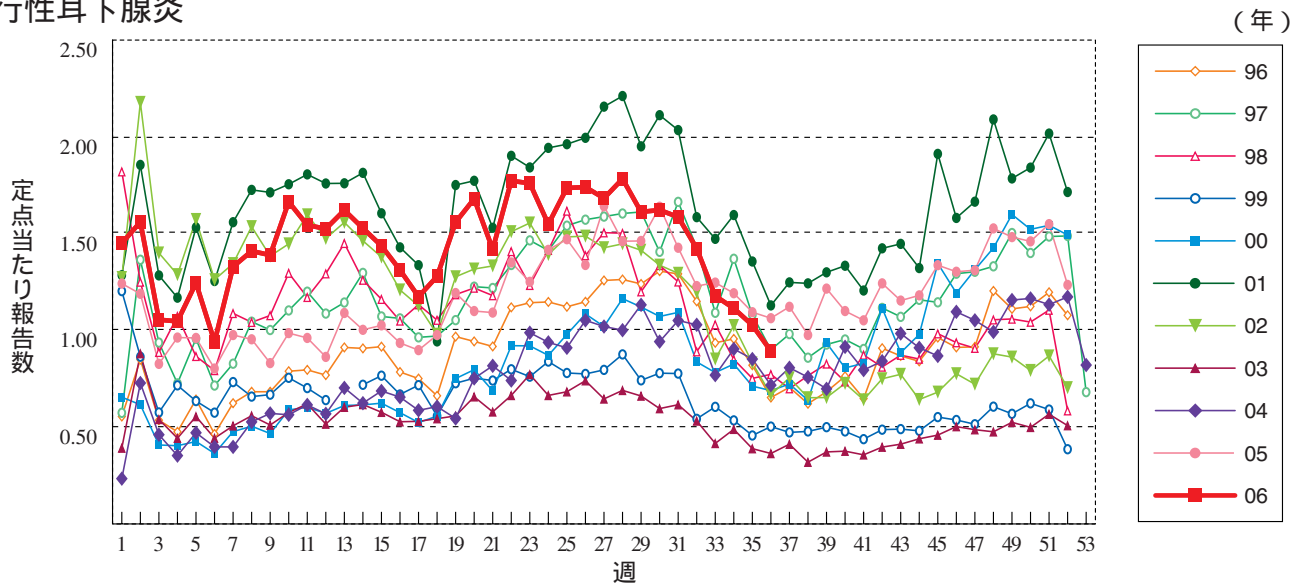
ヘルパンギーナ



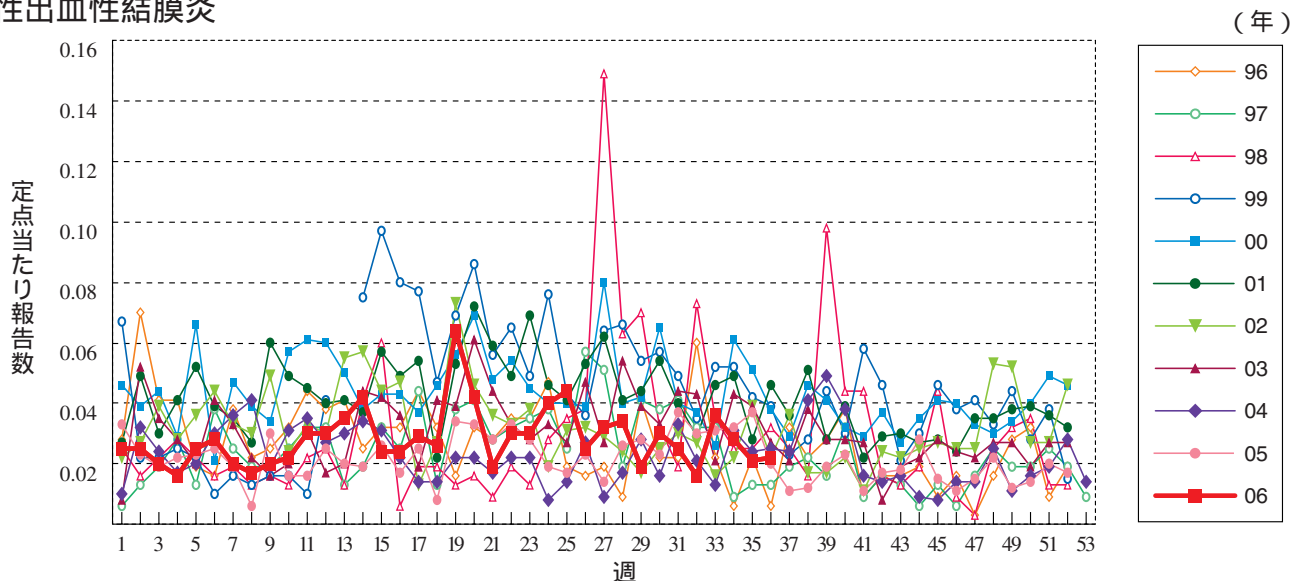
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



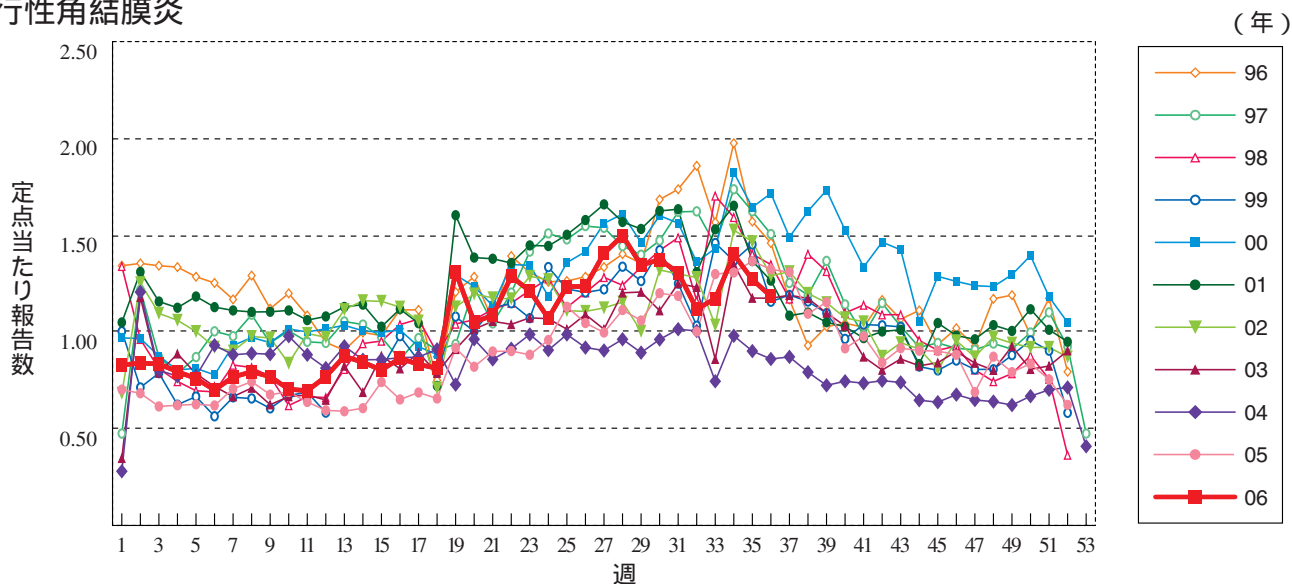
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

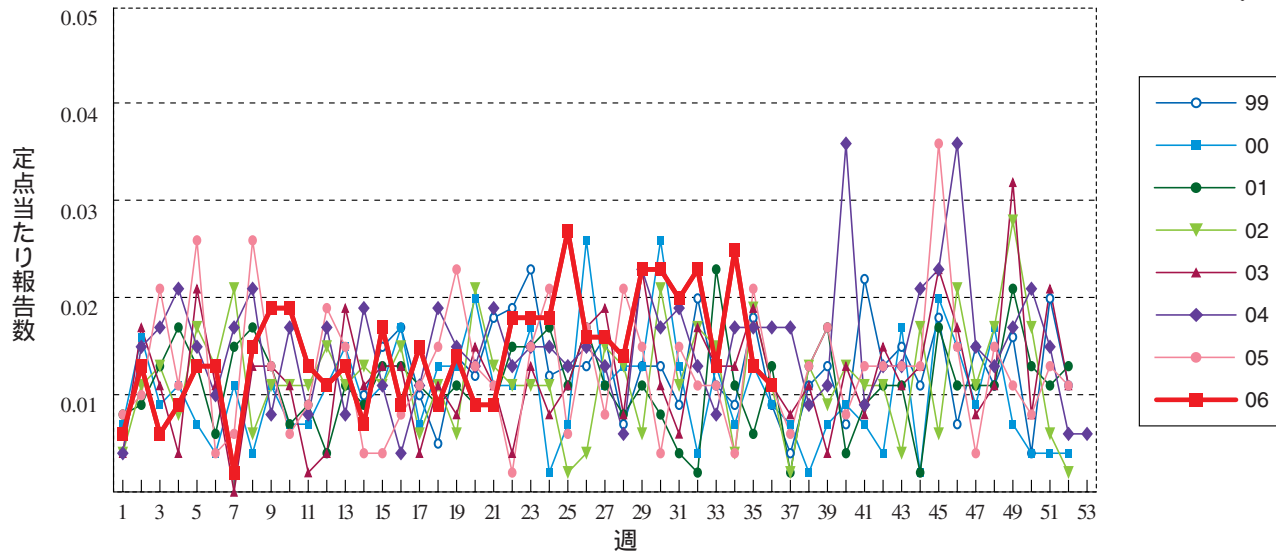


流行性角結膜炎



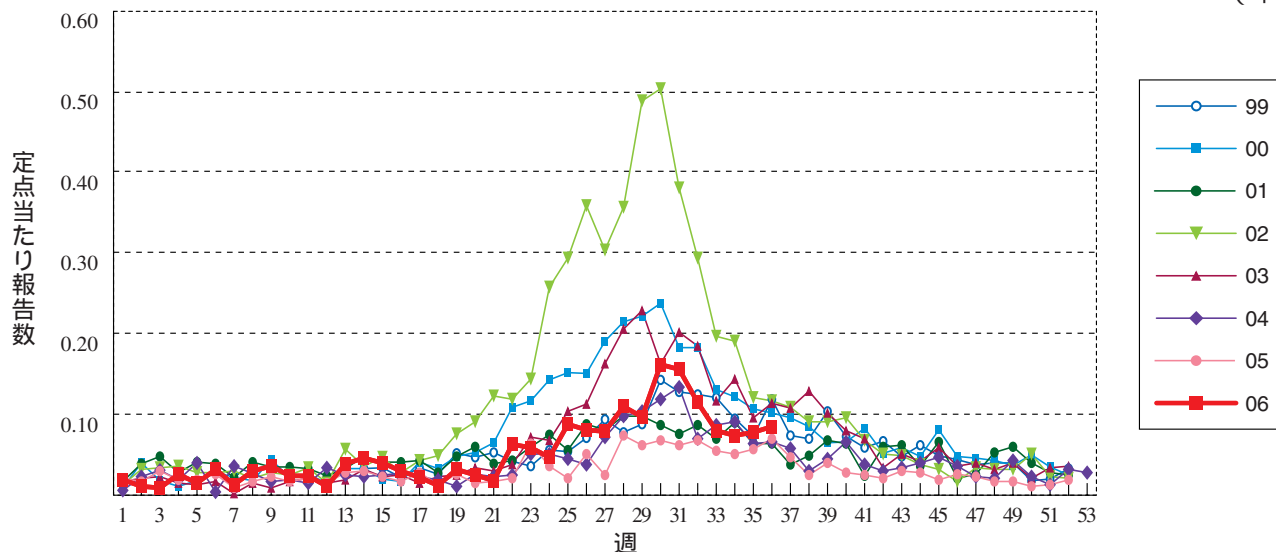
細菌性髄膜炎

(年)



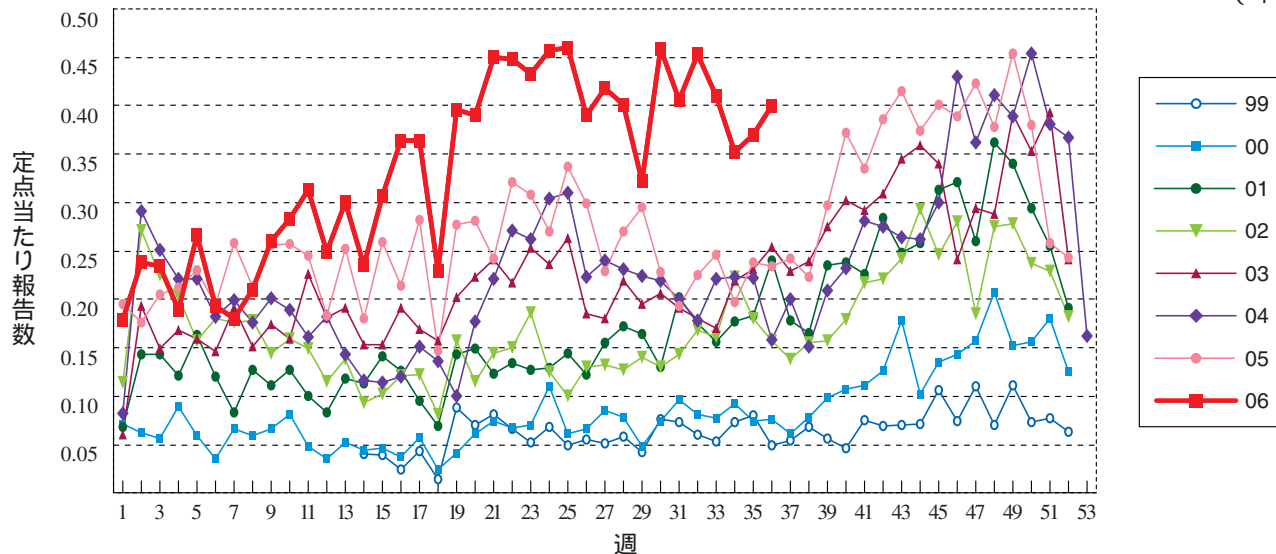
無菌性髄膜炎

(年)



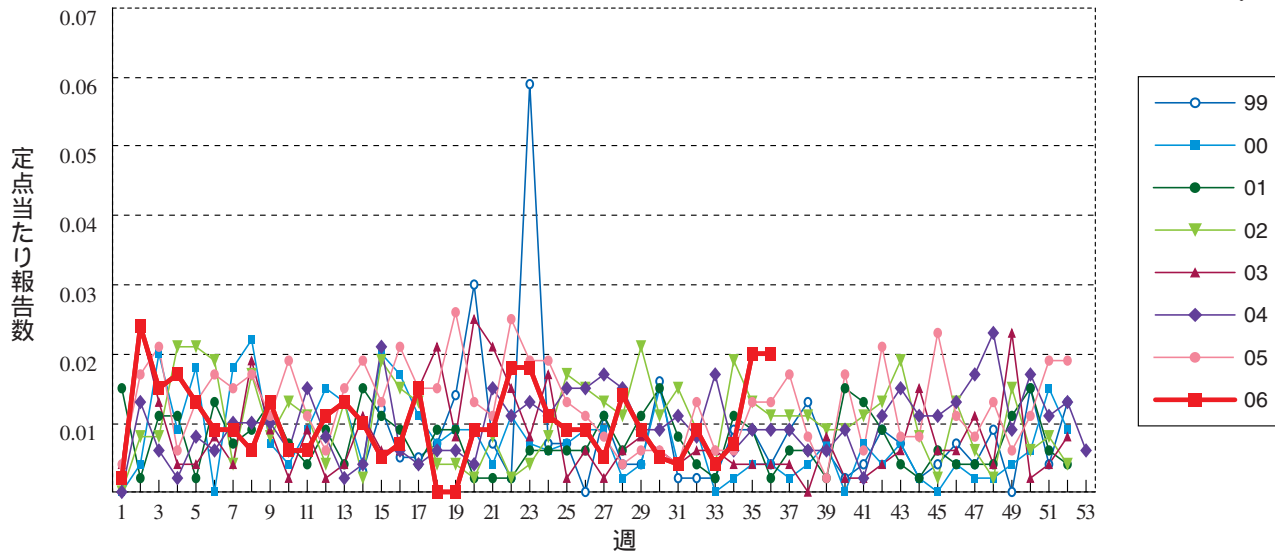
マイコプラズマ肺炎

(年)



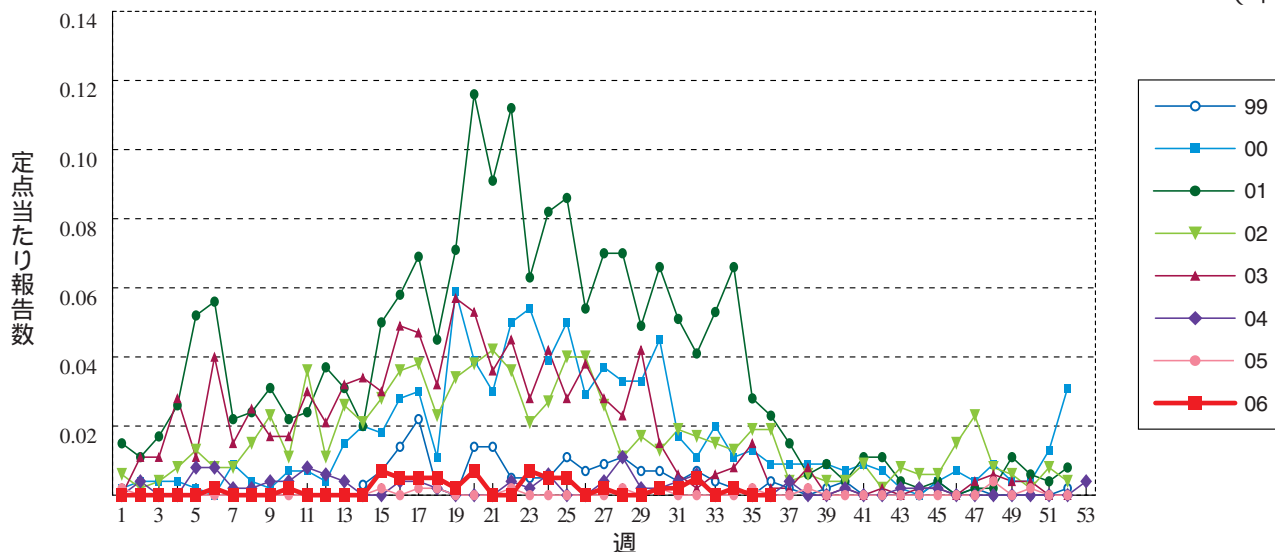
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



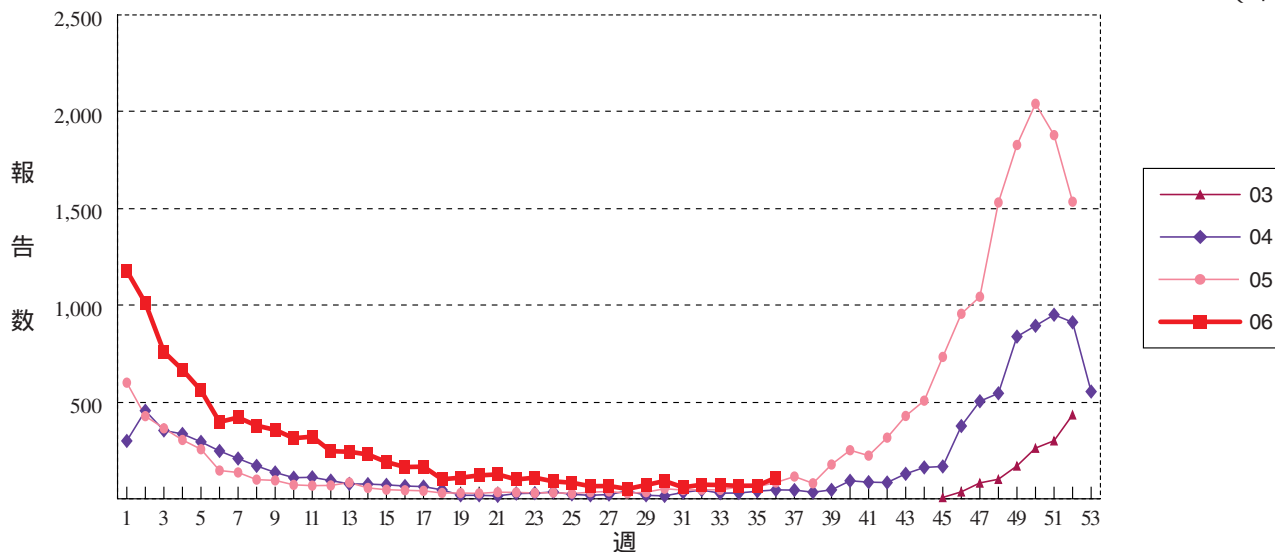
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





36週のデータ

注1)表中の報告数は9月14日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。
 注2)また報告システム変更の影響により、この「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。
 *病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2006年36週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	39
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年36週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	11	318	-	-	1	53	1	18	158	2739	-	52	-	-	13	265	-	16
北海道	-	2	-	-	-	-	-	-	4	52	-	15	-	-	-	12	-	15
青森県	3	3	-	-	-	-	-	-	-	39	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	50	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	40	-	2	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	62	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	3	33	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	25	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	18	-	1	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	13	-	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	112	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	9	-	-	-	4	-	-	4	79	-	-	-	-	-	9	-	-
千葉県	1	54	-	-	-	4	-	1	3	98	-	1	-	-	-	3	-	-
東京都	2	39	-	-	-	16	1	11	6	185	-	3	-	-	-	24	-	-
神奈川県	-	18	-	-	-	6	-	1	5	128	-	7	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	10	-	-	-	1	-	-	10	26	-	1	-	-	-	15	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	5	97	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	55	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	2	26	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	1	-	1	1	31	-	3	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	92	-	-	-	-	-	8	-	-
静岡県	-	3	-	-	-	1	-	-	16	62	-	-	-	-	1	6	-	-
愛知県	1	21	-	-	-	4	-	2	9	152	-	3	-	-	-	15	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	4	38	-	1	-	-	10	16	-	-
京都府	-	2	-	-	-	1	-	-	19	60	-	2	-	-	-	9	-	-
大阪府	2	73	-	-	-	6	-	2	10	221	-	-	-	-	-	38	-	-
兵庫県	-	15	-	-	-	-	-	-	2	115	-	1	-	-	-	18	-	-
奈良県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	1	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	92	-	-	-	-	-	14	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	5	75	-	1	-	-	-	7	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	36	-	1	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	12	28	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	19	-	-	1	2	-	-	5	134	-	1	-	-	-	8	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	53	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	56	-	-	-	-	-	8	-	-
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	72	-	5	-	-	-	3	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	1	1	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	85	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年36週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	16	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年36週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	175	2	35	-	-	1	20	-	1	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年36週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	1	47	-	-	-	7	-	-	12	338	4	7	5	518
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	8	-	-	1	14
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	22
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	28
東京都	-	-	-	-	-	10	-	-	-	1	-	-	3	46	1	2	2	133
神奈川県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	54
新潟県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	16	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	6
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	12
愛知県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	26	1	1	1	33
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	16
大阪府	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	-	67
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	1	28
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	5	-	1	-	4
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	1

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
 **ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年36週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	177	1	124	1	14	4	116	1	86	13	888	-	62	1	11	-	-
北海道	-	4	-	5	1	5	-	7	-	6	-	21	-	1	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	10	-	-	-	-	1	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	7	-	-	-	1	-	2	1	23	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	7	-	-	-	4	-	3	-	27	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	3	-	15	-	-	-	4	-	6	-	38	-	1	-	-	-	-
東京都	-	25	-	4	-	5	-	12	1	12	3	292	-	19	-	1	-	-
神奈川県	-	9	-	4	-	1	-	6	-	4	2	54	-	9	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	5	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	-	1	-	1	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	2	-	-	-	4	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
長野県	-	7	-	-	-	-	-	3	-	1	-	15	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	2	-	-	-	4	-	5	-	16	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	7	-	8	-	-	-	4	-	8	3	74	-	2	-	1	-	-
三重県	-	9	-	3	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	7	-	1	-	-	-	-
京都府	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	1	24	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	19	-	10	-	1	1	9	-	5	1	95	-	10	-	1	-	-
兵庫県	1	19	-	4	-	-	-	4	-	7	1	37	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	11	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	1	3	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-
広島県	-	6	1	10	-	-	-	4	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
山口県	-	2	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	1	-	1	-	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	6	-	9	-	-	-	5	-	-	-	18	-	3	1	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	7	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年36週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	424	2	77	-	-	1	48	-	-
北海道	-	7	1	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	4	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	11	-	6	-	-	1	2	-	-
東京都	3	88	-	6	-	-	-	7	-	-
神奈川県	-	15	-	4	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	4	-	3	-	-	-	2	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	1	5	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-
静岡県	-	9	-	2	-	-	-	4	-	-
愛知県	-	32	-	2	-	-	-	-	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	6	-	1	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	27	-	2	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	16	1	2	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	-	4	-	-	-	1	-	-
広島県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	23	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	25	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	29	-	4	-	-	-	1	-	-
大分県	-	6	-	2	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	15	-	5	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年36週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	40	0.01	2080	0.69	2047	0.68	8748	2.91	1589	0.53	3484	1.16	953	0.32	2579	0.86	36	0.01
北海道	-	-	65	0.45	179	1.25	166	1.16	49	0.34	272	1.90	25	0.17	84	0.59	-	-
青森県	-	-	10	0.24	16	0.38	51	1.21	27	0.64	30	0.71	9	0.21	33	0.79	1	0.02
岩手県	-	-	2	0.05	29	0.74	84	2.15	9	0.23	14	0.36	6	0.15	25	0.64	-	-
宮城県	1	0.01	14	0.23	28	0.46	162	2.66	22	0.36	42	0.69	31	0.51	49	0.80	-	-
秋田県	-	-	31	0.89	47	1.34	80	2.29	26	0.74	54	1.54	17	0.49	18	0.51	1	0.03
山形県	-	-	23	0.77	55	1.83	28	0.93	8	0.27	60	2.00	15	0.50	35	1.17	1	0.03
福島県	-	-	15	0.31	68	1.42	137	2.85	30	0.63	59	1.23	14	0.29	51	1.06	-	-
茨城県	1	0.02	58	0.77	46	0.61	117	1.56	26	0.35	13	0.17	28	0.37	45	0.60	-	-
栃木県	-	-	7	0.15	18	0.39	62	1.35	15	0.33	60	1.30	15	0.33	47	1.02	-	-
群馬県	-	-	47	0.76	36	0.58	193	3.11	41	0.66	73	1.18	6	0.10	65	1.05	-	-
埼玉県	-	-	92	0.57	142	0.88	527	3.25	107	0.66	216	1.33	83	0.51	177	1.09	-	-
千葉県	3	0.02	64	0.52	85	0.69	271	2.20	70	0.57	68	0.55	48	0.39	118	0.96	8	0.07
東京都	-	-	78	0.56	68	0.49	376	2.69	43	0.31	142	1.01	46	0.33	109	0.78	-	-
神奈川県	-	-	95	0.47	92	0.46	477	2.36	80	0.40	258	1.28	64	0.32	198	0.98	3	0.01
新潟県	1	0.01	49	0.80	57	0.93	86	1.41	22	0.36	352	5.77	14	0.23	41	0.67	1	0.02
富山県	1	0.02	23	0.79	30	1.03	112	3.86	10	0.34	65	2.24	6	0.21	22	0.76	1	0.03
石川県	-	-	18	0.62	21	0.72	128	4.41	18	0.62	124	4.28	4	0.14	24	0.83	-	-
福井県	-	-	9	0.41	13	0.59	124	5.64	15	0.68	35	1.59	8	0.36	15	0.68	-	-
山梨県	-	-	18	0.75	7	0.29	34	1.42	11	0.46	64	2.67	9	0.38	6	0.25	-	-
長野県	1	0.01	124	2.25	47	0.85	143	2.60	31	0.56	266	4.84	9	0.16	37	0.67	4	0.07
岐阜県	7	0.09	55	1.04	15	0.28	71	1.34	41	0.77	40	0.75	40	0.75	33	0.62	2	0.04
静岡県	-	-	69	0.80	75	0.87	331	3.85	48	0.56	116	1.35	64	0.74	92	1.07	-	-
愛知県	-	-	135	0.74	114	0.63	418	2.30	109	0.60	140	0.77	116	0.64	172	0.95	2	0.01
三重県	-	-	98	2.18	42	0.93	227	5.04	29	0.64	75	1.67	23	0.51	50	1.11	-	-
滋賀県	-	-	24	0.77	10	0.32	28	0.90	11	0.35	36	1.16	13	0.42	12	0.39	-	-
京都府	-	-	32	0.46	34	0.49	224	3.20	35	0.50	26	0.37	38	0.54	31	0.44	2	0.03
大阪府	3	0.02	117	0.64	134	0.74	567	3.12	93	0.51	127	0.70	42	0.23	163	0.90	2	0.01
兵庫県	-	-	44	0.34	61	0.48	382	2.98	72	0.56	100	0.78	19	0.15	105	0.82	-	-
奈良県	-	-	25	0.71	15	0.43	74	2.11	13	0.37	14	0.40	1	0.03	20	0.57	-	-
和歌山県	-	-	21	0.68	5	0.16	90	2.90	26	0.84	39	1.26	11	0.35	35	1.13	-	-
鳥取県	-	-	36	1.89	34	1.79	129	6.79	8	0.42	5	0.26	5	0.26	16	0.84	-	-
島根県	-	-	30	1.30	18	0.78	86	3.74	14	0.61	15	0.65	2	0.09	22	0.96	-	-
岡山県	-	-	16	0.30	21	0.39	140	2.59	22	0.41	33	0.61	4	0.07	36	0.67	-	-
広島県	-	-	50	0.69	38	0.53	291	4.04	31	0.43	15	0.21	16	0.22	46	0.64	2	0.03
山口県	-	-	24	0.49	49	1.00	223	4.55	32	0.65	33	0.67	4	0.08	61	1.24	-	-
徳島県	-	-	22	1.22	16	0.89	49	2.72	14	0.78	7	0.39	-	-	20	1.11	-	-
香川県	-	-	19	0.59	8	0.25	78	2.44	16	0.50	8	0.25	2	0.06	23	0.72	-	-
愛媛県	-	-	11	0.30	21	0.57	152	4.11	24	0.65	33	0.89	17	0.46	51	1.38	-	-
高知県	-	-	76	2.53	6	0.20	93	3.10	15	0.50	45	1.50	4	0.13	17	0.57	1	0.03
福岡県	-	-	101	0.84	85	0.71	571	4.76	70	0.58	60	0.50	15	0.13	134	1.12	4	0.03
佐賀県	-	-	23	1.00	11	0.48	28	1.22	8	0.35	26	1.13	13	0.57	33	1.43	-	-
長崎県	6	0.09	37	0.84	11	0.25	144	3.27	17	0.39	6	0.14	14	0.32	30	0.68	-	-
熊本県	-	-	22	0.46	35	0.73	305	6.35	41	0.85	41	0.85	6	0.13	52	1.08	-	-
大分県	-	-	50	1.39	36	1.00	211	5.86	42	1.17	22	0.61	4	0.11	48	1.33	-	-
宮崎県	-	-	52	1.41	37	1.00	201	5.43	40	1.08	52	1.41	18	0.49	32	0.86	-	-
鹿児島県	1	0.01	30	0.54	21	0.38	175	3.13	39	0.70	18	0.32	5	0.09	37	0.66	-	-
沖縄県	15	0.26	19	0.56	11	0.32	102	3.00	19	0.56	85	2.50	-	-	9	0.26	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年36週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	3	0.00	1410	0.47	4	0.00	2683	0.89	14	0.02	748	1.18	5	0.01	38	0.08	179	0.40
北海道	-	-	234	1.64	-	-	93	0.65	-	-	15	0.52	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	59	1.40	-	-	30	0.71	-	-	22	2.00	-	-	-	-	6	1.00
岩手県	-	-	23	0.59	-	-	33	0.85	-	-	3	0.25	-	-	-	-	7	0.35
宮城県	-	-	60	0.98	-	-	70	1.15	1	0.08	5	0.42	-	-	-	-	4	0.33
秋田県	-	-	52	1.49	-	-	11	0.31	1	0.14	4	0.57	-	-	-	-	3	0.38
山形県	-	-	21	0.70	-	-	7	0.23	-	-	-	-	-	-	1	0.10	3	0.30
福島県	-	-	40	0.83	-	-	52	1.08	-	-	8	0.67	-	-	-	-	2	0.33
茨城県	-	-	25	0.33	-	-	46	0.61	-	-	37	2.47	-	-	-	-	5	0.83
栃木県	1	0.02	7	0.15	1	0.02	42	0.91	-	-	30	2.50	-	-	4	0.57	8	1.14
群馬県	-	-	23	0.37	-	-	90	1.45	-	-	67	4.79	-	-	-	-	12	1.50
埼玉県	-	-	56	0.35	-	-	117	0.72	-	-	51	1.28	-	-	-	-	7	0.78
千葉県	1	0.01	32	0.26	-	-	47	0.38	-	-	22	0.73	-	-	-	-	6	0.67
東京都	-	-	63	0.45	1	0.01	59	0.42	-	-	8	0.57	-	-	1	0.04	4	0.16
神奈川県	1	0.00	74	0.37	-	-	152	0.75	1	0.02	54	1.29	1	0.13	4	0.50	4	0.50
新潟県	-	-	22	0.36	-	-	183	3.00	1	0.10	6	0.60	-	-	1	0.08	9	0.75
富山県	-	-	18	0.62	-	-	21	0.72	-	-	9	1.29	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	4	0.14	-	-	9	0.31	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	11	0.50	-	-	7	0.32	-	-	-	-	2	0.33	5	0.83	-	-
山梨県	-	-	5	0.21	-	-	28	1.17	-	-	11	1.38	-	-	1	0.10	7	0.70
長野県	-	-	26	0.47	-	-	105	1.91	2	0.18	32	2.91	-	-	2	0.18	2	0.18
岐阜県	-	-	17	0.32	-	-	21	0.40	-	-	5	0.50	-	-	3	0.60	2	0.40
静岡県	-	-	34	0.40	-	-	106	1.23	-	-	19	0.95	-	-	-	-	3	0.30
愛知県	-	-	43	0.24	-	-	101	0.55	-	-	19	0.54	-	-	-	-	7	0.54
三重県	-	-	13	0.29	-	-	51	1.13	-	-	5	0.42	-	-	-	-	1	0.13
滋賀県	-	-	11	0.35	-	-	13	0.42	-	-	6	0.86	-	-	2	0.29	6	0.86
京都府	-	-	17	0.24	1	0.01	38	0.54	-	-	20	1.18	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	67	0.37	-	-	179	0.98	3	0.07	31	0.74	-	-	3	0.30	23	2.30
兵庫県	-	-	36	0.28	-	-	140	1.09	1	0.03	32	0.91	-	-	4	0.31	-	-
奈良県	-	-	5	0.14	-	-	15	0.43	1	0.11	7	0.78	-	-	1	0.17	1	0.17
和歌山県	-	-	12	0.39	-	-	30	0.97	-	-	1	0.25	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	9	0.47	-	-	13	0.68	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-
島根県	-	-	8	0.35	-	-	51	2.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	8	0.15	-	-	55	1.02	1	0.08	10	0.83	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	27	0.38	-	-	39	0.54	1	0.05	24	1.26	-	-	1	0.05	8	0.38
山口県	-	-	32	0.65	-	-	40	0.82	-	-	18	2.00	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	4	0.22	1	0.06	20	1.11	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	4	0.13	-	-	34	1.06	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	17	0.46	-	-	30	0.81	-	-	33	4.13	-	-	-	-	8	1.33
高知県	-	-	13	0.43	-	-	36	1.20	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	53	0.44	-	-	97	0.81	1	0.04	50	1.92	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	10	0.43	-	-	12	0.52	-	-	-	-	1	0.17	-	-	4	0.67
長崎県	-	-	22	0.50	-	-	17	0.39	-	-	11	1.38	-	-	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	42	0.88	-	-	44	0.92	-	-	23	2.56	-	-	-	-	4	0.27
大分県	-	-	23	0.64	-	-	84	2.33	-	-	6	1.20	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	15	0.41	-	-	60	1.62	-	-	14	3.50	-	-	-	-	2	0.29
鹿児島県	-	-	3	0.05	-	-	133	2.38	-	-	5	0.71	1	0.08	-	-	2	0.17
沖縄県	-	-	10	0.29	-	-	22	0.65	-	-	9	0.90	-	-	1	0.14	8	1.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2006年36週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	9	0.02	-	-	109
北海道	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	5
千葉県	2	0.22	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	2
新潟県	2	0.17	-	-	-
富山県	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.10	-	-	16
兵庫県	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	1
広島県	-	-	-	-	14
山口県	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	4
福岡県	1	0.07	-	-	19
佐賀県	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	6
大分県	-	-	-	-	5
宮崎県	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	14

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年36週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2006年36週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第8巻 第36号 2006年9月25日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。